

第八十二回帝國議會 昭和十八年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲
衆議院 公債發行ニ關スル法律案外九件

委員會會議錄(速記)第九回

昭和十八年二月十六日(火曜日)午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 矢野庄太郎君

理事森川 仙太君 理事南 鐵太郎君

赤間 德壽君 伊藤 五郎君

長内 健榮君 坂口平兵衛君

鈴木 忠吉君 田部 朋之君

高木 義人君 遠山 暉男君

中西 敏憲君 松田 正一君

森部 隆輔君

同月十六日委員南雲正朔君及大橋清太郎君
辭任ニ付其ノ補闕トシテ松浦伊平君及清寬
君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十六日理事南雲正朔君及大橋清太郎君
ノ補闕トシテ森川仙太君及清寬君理事ニ當
選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 賀屋 興宣君

出席政府委員左ノ如シ

法制局長官 森山 銳一君

大藏次官 谷口 恒二君

大藏省總務局長 迫水 久常君

大藏省主計局長 植木庚子郎君

大藏省主稅局長 松隈 秀雄君

大藏省國民貯蓄局長 氏家 武君

大藏省資金局長 松田 令輔君

大藏省理財局長 田中 豐君

大藏省銀行局長 山際 正道君

大藏省監理局長 相馬 敏夫君

大藏省書記官 河野 一之君

大藏省書記官 加藤 八郎君

大藏省書記官 木内 四郎君

大藏省書記官 濱田 德海君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

臨時資金調整法中改正法律案(政府提出、
貴族院送付)

普通銀行等ノ貯蓄銀行業務又ハ信託業務
ノ兼營等ニ關スル法律案(政府提出、貴
族院送付)

銀行等ノ事務ノ簡素化ニ關スル法律案(政
府提出、貴族院送付)

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
(大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ
爲公債發行ニ關スル件)

○矢野委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、本

日ハ臨時資金調整法中改正法律案、普通銀
行等ノ貯蓄銀行業務又ハ信託業務ノ兼營等
ニ關スル法律案、銀行等ノ事務ノ簡素化ニ
關スル法律案、此ノ三案ニ付テ質疑ヲ致シ
マス、通告順ニ依ツテ質疑ヲ許シマス――
松田君

○松田(正)委員 銀行局長ニ御伺ヒシタイ、
是ハ銀行ノ年度ヲ政府ノ所謂會計年度ニ變
ヘルト云フノデスガ、從前カラモ色々議論
ノアツタ所デスガ、四月一日ヲ以テ其ノ年
ノ初メトシテ來年ノ三月三十一日マデニス
ルト云フコトハ年ノ半バデアツテ、ドウモ
四月一日カラノ豫算ノ實施ガ、實際ニ於テ
補助金其ノ他ノモノガ出テ來ルノハ七月過
ヅル、其ノ年ノ計畫ヲ豫算ノ實行ニ依ツテ
其ノ年ニ濟マスコトガ困難ダト云フ議論ガ
今マデ大分アツタノデスガ、之ヲ政府ノ會
計年度ヲ一月一日カラ十二月三十一日マデ
ト云フコトニ決メテラ簡單ニナルノデヤナ
イデスカ、曆ノ上カラ言ツテソレガ本當デ
スヨ、中途半端ニヤルヨリモ一月一日カラ
十二月三十一日マデノ會計年度ニスル方
ガ、却テ何カニ付ケテ便利デアル、今デモ公

債消化ヤ貯蓄ハ曆年デ行クトカ、會計年度
ハ四月一日カラト云フコトデ區々ニナツテ
居ル、ソレハ却テ複雜ニナリマスノデ、政
府ノ方ノ會計年度ヲ先ニ變ヘタラドウカ、
斯ウ云フヤウナ議論モアルノデアリマスカ
ラ、御意見ヲ承リタイ

○山際政府委員 今回金融機關ノ事業年度
ヲ政府ノ會計年度ト一致サセルト云フ趣旨
ノ法律案ニ關聯致シマシテ、寧ロ會計年度
ノ方ヲ色々ナ商慣習ノ基礎ニナツテ居ル曆
年ノ方ニ合ハシテ見ルヤウナ考ヘナイカ、
ト云フ御尋ネト拜承致シマスガ、御承知ノ
如ク政府ノ會計年度ノ問題ハ議會ノ會期ト
ノ關係、法律案、豫算案等ノ御審議ノ關係、
其ノ他非常ニ廣汎ナ問題ヲ包含シテ居ル問
題デゴザイマス、多分恐ラクハ種々研究ノ
結果四月、三月ト云フ時期ガ我が國トシテ、
ソレ等ノ關係カラ見テ一番好イ會計年度デ
アルト云フコトデ御採用ニナツテ參ツタノ
ガラウト思ヒマス、何分ニモ今日ハ政府ノ
施策ノ總テガ、之ヲ土臺トシテ動イテ居リ
マス實際デアリマスノデ、俄カニココデ改
メルト云フコトモ中々實行上困難ナ問題

付託議案

臨時資金調整法中改正法律案(政
府提出、貴族院送付)(第七一號)
普通銀行等ノ貯蓄銀行業務又ハ信
託業務ノ兼營等ニ關スル法律案
(政府提出、貴族院送付)(第七二
號)
銀行等ノ事務ノ簡素化ニ關スル法
律案(政府提出、貴族院送付)(第七
三號)
戰爭死亡傷害保險法案(政府提出、
貴族院送付)(第七四號)
鹽專賣法中改正法律案(政府提出、
貴族院送付)(第七五號)
昭和十二年法律第八十四號中改正
法律案(大東亞戰爭ニ關スル臨時
軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル
件)(第八五號)

ガアルトハ思ヒマスシ、更ニ又只今申上テマシタヤウニ色々ナ基礎コナル事情等ガアリマスノデ、此ノ方ヲ變ヘテ掛ルト云フコトハ實ハ私共思ヒ至ラナカッタノデアリマス、御意見ノゴザイマスコトハ時折耳ニハ致シテ居リマシタガ、寧ロ此ノ際ハ比較的簡易デアアル金融機關ノ事業年度ノ方ヲ、此ノ大キイ會計年度ノ方ニ合ハシテ行クノガ至當デハナイカト云フコトデ、此ノ法案ヲ立案致シタヤウナ次第デアリマス

○松田(正)委員 御趣旨ハ能ク分ツテ居リマスガ、憲法ニハ年ニ一回議會ヲ召集スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、年内ニ一遍召集スレバソレデ宜イコトニナツテ居ルノデ、十二月ニナツテ召集シナケレバナラヌト云フコトハ、憲法上ニ規定ハアリマセヌ、是ハヤハリ其ノ年度内ニ議會ヲ召集スルコトニ出來ヌコトモナイノデアリマセウ、今餘程改革ヲシテ居ル時期デアリマスカラ、斯ウ云フ時ニハモヤラウト思ツタラヤレヌコトガナイノデヤナイカ、今必要ニ迫ツテ金融機關ノ營業年度ヲ政府ノ會計年度ニスルト云フコトハ、是ハ異議ハアリマセヌ、異議ハアリマセヌケレドモ、時期ガ四月一日カラ來年三月三十一日マデト云フ半端ナ時ニナルト云フコトハ、却テ複雜ニナルノデヤナイカ、詰リ豫算ノ實行上ニ付テモ不便デヤナイカト思フノデアリマス、モウ私ガ申スマデモナク、今色々ノ改革ガ行ハレテ居リマシテ、思ヒ切ツタ改革ヲヤツテ貰ヘル時期デアラカラ、是モ政府ガヤラウト思ヘバヤリ得ルノデヤナイカト思ヒマス、其ノ意味カラ申シマシテ、尙ホ進ンデ承ツテ置キタイノデスガ、金融機關

ノ營業年度ダケヲ政府ノ會計年度ニ引付ケヨウ、同ジヤウニシヨウ、斯ウ云フ必要ガナゼ起ツタノデアラカ、大體ノ御趣旨ハ分ツテ居リマスケレドモ、ドウ云フ譯デ此ノ金融機關ノ營業年度ヲ政府ノ同様ノ會計年度ニシナケレバナラヌカ、其ノ理由ガ此ノ説明書ニ依リマスト極メテ簡單ニナツテ居リマスノデ、其ノ御説明ニ與リタイト思ヒマス「戰時下國家財政及金融ノ圓滑ナル運営ニ資センガ爲」銀行法等中改正法律案ヲ出シタノダト云フノデスガ、金融ノ圓滑ナル運営ト云フコトニナリマス、ドウシテモ一月一日カラ十二月三十一日ガ一番宜イ譯ナノデスガ、ソレヲ考ヘズシテ、斯ウ云フコトニシタト云フ其ノ理由ヲ承リタイト思ヒマス

○山際政府委員 御承知ノ如ク金融機關ノ働キノ方面、即チ資金ノ吸收ト其ノ吸收致シマシタ資金ノ運用ノ方面ハ、現在種々ノ統制ヲ受ケテ居ルノデゴザイマス、申スマデモナク金融上ノ問題ト致シマシテ、今日最モ大キク動イテ居リマスノハ、國ノ豫算及ビ其ノ執行ヲ中心トスル動キデゴザイマス、即チ巨額ニ上ル戰費ヲ支障ナク調達ヲスル、又其ノ戰爭遂行ヲ可能ナラシメル所ノ生産擴充ヲ圓滑ニ推進セシメル、是ノ資金面ヲ中心ニ金融機關ハ動イテ居ルノデゴザイマス、隨ヒマシテ其ノ金融機關ノ働キハ、國ガ立テテ居リマス豫算ハ勿論ノコト、所謂資金統制計畫デアリマス、物資動員計畫、生産擴充計畫ナド、色々ナ財政上、經濟上ノ基礎ニナツテ居ル計畫ニ基キマシテ運営致サレテ居ルノデゴザイマス、然ルニ是等ノ國家ノ計畫ハ、何レモ是ハ會計年度ヲ基礎ト致シマシテ樹立セラレ、計畫セ

ラレテ居ルノデゴザイマス、隨ヒマシテソレ等ノ計畫ニ合ハセマシテ、金融機關ノ資金吸收ノ計畫、又其ノ運用ノ計畫ヲ立テテ參リマスニ於キマシテハ、是ガ會計年度ト一致ヲ致サセマスルコトガ、實際其ノ運営上必要トナツテ參ルノデゴザイマス、所ガ御承知ノ只今ノ金融機關ノ年度ハ區々ニナツテ居リマシテ、銀行ナドハ大體曆年ニ一致致シテ居ルノデゴザイマスガ、曆年ヤ或ハ會計年度以外ノ區々ノ事業年度ヲ中心ニ、其ノ機關々々デ色々計畫ヲ立テテ參リマス、其ノ個々ノ計畫ヲ全體トシテ國家ノ計畫ニ照シ合セマスル場合ハ、一々翻譯シナケレバナラヌコトニナルノデゴザイマス、期末ノ勘定其ノモノヲ以テ、直グニ政府ノ立テテ居ル資金計畫ノ數字トスル譯ニ參ラスノデゴザイマシテ、中途半端ナ所デ又區切りマシテ、計算ヲヤリ直スト云フ手數ガ掛ツテ參ルノデゴザイマス、金融機關ノ事業計畫ヲ國家ノ色々ナ經濟計畫ト合致セシメル必要ハ、益、加ハツテ參リマスノデ、此ノ際一層適切ナル運営ガ出來マサルヤウニ、金融機關ノ事業年度ノ方ヲ會計年度ト一致サセマシテ、金融機關ガ自分ノ事業ヲ遂行スル上ニ立テテ計畫、ソレヲ集計致シマスレバ、直チニ國家ノ立テテ居リマス資金計畫ニ對應スル計畫トナル、斯ウ云フヤウニ致シマシタ方ガ總テ便宜デアルト考ヘマシタノデ、其ノ理由デ斯様ナ改正ヲ致シタイト考ヘタノデゴザイマス

○松田(正)委員 其ノ意味ハ分ツテ居リマス、ソレヲ曆ニシタ方ガ却テ便利デハナイカト云フノデアリマス、政府ハ御都合主義デアアル、當ニ此ノ案ノミデハナイ、今此ノ委員會ニ付託サレテ居ル案ヲ見マスル

ト、八十四號中改正法律案ノ如キデモ、其ノ他ニ致シマシテモ、總テ政府ノ御都合主義デ民間ヲ引張ルコトニナル、民間ニハ民間ノ事情ガアリ、經營ノ都合ガアツテ、サウ云フ風ニ營業年度ヲ便宜ニ致シテ居ルノデアリマス、ソレデ今政府ノ方デ「ボク」ヲ一ツ押セバ直チニ資金計畫ガ立ツト云フヤウナ方法ニナサレル、ソレガ爲ニ法律ヲ改正シテ政府ノ會計年度ヲ一ツニスルヤウナ方針ヲ進ミタイ、斯ウ云フノナラバ寧ロ曆年ニシタ方ガ都合ガ好イノデハナイカ、私ハ斯ウ信ズルノデアリマスガ、ソレハヤハリ困難デアルト言ハレマス、サウスルト一方整備シヨウト云フノハ區々デアアル、是ハ區々ノ方ガ宜イノデアリマス、之ヲ一本ニスルト困ル、一本ニシタラナゼ困ルカ、此ノ金融機關ガ是デ一本ニナツテシマツテモ、他ノ事業會社トカ、其ノ他ノ營利會社ハ、ヤハリ區々ニナツテ居ル譯デス、金融機關ダケヤツテ資金計畫ガ是デ出來テモ、今マデ資金計畫ハ金融機關ノミデナイ、産業資金其ノ他ノ主要ノ部分モアルノデスカラ、他ノ會社ハ區々デ金融機關ダケハ政府ノ會計年度ニ同様ニスル、斯ウ言ハレルコトガ意味ヲナサヌト、區々ニナツテ居ル方ガ宜イト云フノハナゼカト云フト、一本ニナルト配當金ヲ一時ニ出サナケレバナラヌ、大體サウナツテ居ル、サウスルト三月三十一日デ締切ツテシマツテ、四月ニ株主總會ヲ開イテ、四月若シクハ五月ニ全部配當ヲ株主ニ渡シテシマハナケレバナラヌ、其ノ時ニハ一時ニ來ルカラ資金ニ狂ヒガ來ル、國家ノ財政デモヤハリサウデアアル、税ハ何月ト何月ニ入ル、或ハ地方税ハ何月ト何月、是ハヤハリ曆ニ從ウテバラ／＼ト

シテ居ル所ニ財界ノ急變ヲ防イデ居ル所ガアル、之ヲモウ一步進シテ金融機關ヲ一本ニシテシマフト云フナラバ、他ノ會社モ一本ニシヨウト云フ議論ガ出テ來タ時ニ、政府ノ方デハソレハイカスト言ヒ得ラレヌコトニナル、此ノ改正法カラ考ヘテ見ルトサウナリマス、サウスルト全國ノ金融機關ガ一本ニナツタ、苟クモ會社組織ニ於ケル法人ガ會計年度ニナツタナラバ、配當ガ其ノ月ニザラリト出テ來ル、サウナルト其ノ資金計畫ガ何處デ立チマスカ、ガカラ一月ニ配當ヲ渡スモノモアレバ、三月ニ渡スモノモアル、七月ニ渡スモノモアレバ十月ニ渡スモノモアル、十二月ニ渡スモノモアルト云フ風ニ、バラ／＼ニ配當ヲ民間ノ方ヘ渡スト云フコトニナツテ居ルノガ、却テ財政ノ運用ヲ滑ラカニスル一ツノ方法デアアル、政府ハ金融機關ヲ一本ニセシメル、ソレガ會計年度ニビツタリ來ルカラ財政上都合ガ好イ、資金計畫ガソレデ立ツシダト言ハレマスアレドモ、資金計畫ニ關係ヲ持ツテ居ルモノハ金融機關ダケデアリマセヌ、總テノ會社ヲ一本ニシタラドウカ、此ノ法律ヲモウ少シ大キクシテ、苟クモ法人ハ政府ノ會計年度ニ變ヘテシマヘ、斯ウ云フ風ニナサル御考ヘガナイカ、サウデナイナラバ資金計畫ノ上ニ非常ナ障礙ヲ來スノデハナイカ、是ガ障礙ヲ來サヌト云フ御意見ナラバ、其ノ理由ヲ承リタイ、是ダケニ止メテ置イテ他ノ會社ハ之ノ通りシナイト云フノナラバ、ナゼシナイカト云フ其ノ理由、此ノ二ツヲ承リタイ

○山際政府委員 金融機關ノ事業年度ハ、現在銀行ハ一月六月、七月十二月ノ曆年主義ヲ執ツテ居リマス、ソレカラ信託會社ガ

五月十一月ト云フ年度ヲ執ツテ居リマス、ソレカラ無盡會社ハヤハ一月六月、七月十二月ト云フ制度デゴザイマス、證券引受會社ハ六月十一月、十二月五月ト云フ決算年度ニナツテ居リマス、斯様ニ區々ニハ相成ツテ居リマスルガ、大勢ヲ制スルモノハ、何ト申シマシテモ銀行ノ事業年度デゴザイマス、即チ特別銀行、普通銀行及貯蓄銀行ノ事業年度デゴザイマスガ、是ハ既ニ曆年デ統一サレテ居ルノデゴザイマス、ソレヲ今度ハ總テヲ通ジマシテ四月カラ九月、十月カラ翌年三月ト云フコトニ引直サウト云フノデゴザイマシテ、詰リ大勢カラ申シマスルト、金融機關ガ大體曆年ニ依ツテ居ツタモノガ會計年度ニ變ル、斯ウ御考ヘ願ツテ宜イカト思フノデゴザイマス、ソコデ然ラバ他ノ事業會社等ノコトヲ考ヘテ居ラスカト云フコトデアリマスルガ、私共此ノ立案ヲ致シテ居リマスル者ノ關スル限リニ於キマシテハ、直接他ノ事業會社ノコトハ實ハ考ヘテ居ラスノデゴザイマス、況ヤ節季末ニ於テ商取引ノ決済ヲシヨウト云フ商慣習ヲ、之ニ依ツテ變更スルト云フヤウナコトモ、勿論考ヘテハ居ラスノデゴザイマス、寧ろ六月十二月ノ節季末ハ、事業會社方面等ニ於キマシテ資金ノ出入ガ中多イ、ソレヲ世話致シテ居ルノガ金融機關デゴザイマス、ソレデ金融機關ハ人ノ世話ヲスル上ニ、自分ノ決算ノ始末モ致サナケレバナラスノデ、此ノ節季末ニ非常ニ多忙ヲ極メタノデゴザイマス、寧ろ左様ナコトデアリマスカラ、金融機關ノ方ハ此ノ

決算ヲズラセマシテ、六月十二月ノ節季末ニハ十分金融機關トシテ他ノ事業會社等ノ世話ガ出來ルヤウニト云フコトモ望シデ居

ルヤウナ次第デゴザイマス、配當ノ支拂期ガ非常ニ偏ルト云フコトハ、金融上面白クナカラウト云フ御説ハ是ハ洵ニ御尤モデアリマス、左様ナ次第デアリマスルノデ、左様ニ全會社全面的ニ是等ノコトヲ致ス考ヘテ以テ、之ヲ立案致シテ居ル趣旨デハナイノデゴザイマス

○松田(正)委員 兎ニ角此ノ會計年度ニ金融機關ノ營業年度ヲ決メヨウ、斯ウ云フコトハ、先程モ申シマスル如ク、政府ノ御都合主義デ以テ行クノナラバサウ云フ風ニシタ方ガ宜イデハナイカト思フノデスガ、政府ノ方ニ引張ラウト云フナラバ全部ヤツタラドウカト云フノデアリマスガ、ソレハヤハリ他ノ事業會社ハ十二月六月ハ忙シイ、其ノ金融機關ガ世話ヲシテ、自分ノ決算モヤラナケレバナラスノデ忙シイ、斯ウ云フ風ニナルノデアリマスカラ、人手ヲ成ベク樂ニスル爲ニト云フノデアリマスガ、ソレハ此ノ戰時下ニハ相應ハシクナイ、ソナチモノハ夜ニ日ヲ次イデモヤラナケレバナラス、若シサウ云フ理由ナラバ、少シ理由ガ薄弱デハナイカト思ハレル、ソレデ民間ノ方デ手ガ非常ニ忙シイ、ソナチヤウナコトヲ政府ハ一寸モ考ヘナイデ置イテ、政府ノ御都合主義デヤツテ居ルト云フ一ツノ例ガアル、理財局長今御急ギノヤウデアリマスカラ、理財局長カラ御答辯ヲ願ツテモ宜イガ日本發送電株式會社ハ株數ガ三千何百万株アルサウデス、アレハ御承知ノ如ク全國ノ電燈會社ト云フモノヲ一纏メニシタ、ソレデスカラ全國ニ株主ヲ持ツテ居ル、株數ハ今申シマス如ク三千數百万株アル、アノ株主總會ヲ招集スル手數ガドレダケ要ツテ居ルト考ヘラレマスガ、株式係リニ八十七

人ノ人ヲ集メテ居ル、恐ラク東洋ヲ通ジテ、株式ノ係リニ八十七人ノ人手ヲ使ウテ居ル會社ト云フモノハアリマセヌ、滿鐵デサヘモ四十人足ラヌ、アノ株主總會ニ招集ヲスルノニ一年中掛ツテ居ル、其ノ費用ガ莫大ナモノデアウテ、其ノ費用ハマダ調ベテ居リマセヌケレドモ、招集狀ヲ出スノニ、ドウシテモ十數万圓要ルト云フ、其ノ物資ガ要ル、ソレデ端書モ一枚入レテヤル、印刷物モ刷ラナケレバナラス、宛名モ書カナケレバナラス、アノ手數ガドレダケ掛ツテ居ルト思フ、ソレデ株主ノ半數以上ニ滿チ、資本ノ半數ニ滿チナケレバ、案件ニ依ツテハ株主總會ヲ開クコトガ出來ヌト云フ、委任狀ガ寄ツテ來ナイノデ早く委任狀ヲ出シテ呉レト云フ再通知ヲ又出サナケレバナラス、アレハドウデス、理財局長一遍日發ヘデモ行ツテ事情ヲ御覽ニナツタラ如何デス、アノ煩雜ヲ簡易化シヨウト云フ頭チシデ、唯政府ノ都合ダケデ簡易化シヨウ、簡易化シヨウト云フノデハ、民間ト政府トガソコニ一致シナイノデアリマス、大藏省ト云フ省ハ、サウ自分ノ省ノ都合ノコトバカリ考ヘテ居ツデハイカヌ、民間ノコトモヤハリ考ヘテ行カナケレバイカヌ、民間ノ方ハ腿ヲ白黒シテ困ツテ居ルノニ、是ハ放ツテ置イテ、政府ノ方ハ兎モ角資金計畫ヲ立テルニハ、政府ノ都合ガ好イヤウニ引張ツテ行カウ、斯ウ云フコトダケデア國民ノ實際ノ事情ヲ御察シニナツテ居ラスト云フコトニナルノデアリナイカ、ソレデ斯ウ云フ日發ノ如キモノヲ簡素化スルナラバ、アレヲシテ株主總會ノ定款ニ謳ハシメテ、定款ニ何月何日ノ何時ヲ以テ株主總會ヲ開ク、株主總會ニ出席ナキ者ハ委任シタモノト看做ス、

斯ウ云フ風ナコトヲ定款ニ書カシメタナラバ、アノ十數万圓ヲ使ツテ、八十數人ノ人手ヲ使ツテ居ルアノ簡素化ハ、ドレ位簡素化ガ出來ルカ分ヲナイ、サウ云フコトニ頭ヲ御使ヒニナツタコトガアルカナイカ、唯政府ノ都合ノ好イヤウニ、金融機關年度ヲ一致サセルト云フコトダケデハ、ドウモ戰時下ノ實際ノ民間ノ事情ヲ汲ミ取ツテ居ラヌト云フコトニナリハセヌカ、此ノ點ニ付テ理財局ノ御答辯ヲ願ヒタイ

○田中(豐)政府委員 只今、今回金融機關ニ付テハ三月、四月ノ決算事業年度ヲ統一スル、ソレハ政府ノ都合ニ依ツテ色々ナルノデアツテ、其ノ他ノ會社ハ決算ノ爲ニ色々苦勞ヲシ、人手モ掛リ、經費モ使ツテ居ルノニ、之ニ對シテ何等改革ヲシナイノカト云フ御趣旨ノ御質問デアルト思ヒマス、金融機關等ノ事業年度ノ變更ニ付キマシテハ、只今銀行局長ヨリ御説明申上デマシタヤウニ、是ハ政府ノ都合バカリデナシニ、政府ノ現在ノ金融機關ノ仕事、活動ト云フモノガ政府ノ資金政策ト、或ハ豫算ノ關係其ノ他ノ事項ト一致シテ、緊密ナ連絡ノ下ニ仕事ヲヤルコトガ政府ニ於テモ便利ガ宜イシ、金融機關ニ於テモ、其ノ活動機能ヲ發揮スル上ニ於テ都合ガ好イ、斯様ナ趣旨カラ改正ヲ行フモノデアルト存ジテ居ルノデアリマス、一般會社ニ付キマシテハ、御指摘ノヤウナ點ガアリマス、總會其ノ他ノ爲ニ色々手數ノ掛ツテ居ル事情ハアルト思ヒマスガ、是ハ一般商法ノ規定ニ基キマシテ、商法ノ規定ノ範圍内ニ於テ事業年度ヲ自由ニ定メテ居テ、其ノ範圍内ニ於テ色々ノ手續ヲ規定セラレテ居ル、所要ノ手續ヲ執ツテ居ル狀態デアリマス、商法ノ規

定ヲ更ニ今日ヨリモ改革シテ簡素化ヲ圖ルカドウカ、是非常ニ大キナ一ツノ問題ト思ヒマス、御指摘ノヤウナ點モアツテサウ云フ點カラ改正ヲ要スル點モアルト思ヒマスガ、是ハ今後研究ニ俟タナケレバナラナイコトデアリマス、今回ノ銀行等ノ決算ノ改正モ、商法ノ規定ノ範圍内ニ於テ、唯事業年度ヲ改正スルコト云フ程度ノモノデアルト思フノデアリマス、一般會社ニ付キマシテモ便宜ナヤウニ事業年度ヲ變更致スコトハ、是ハ自由ナコトデアアル、然ラバ政府ト致シマシテ事業年度ヲ政府ノ會計年度ニ統一スル意思ガアルカト云フコトニ付キマシテハ、先程銀行局長カラ御説明申上デマシタヤウニ、特ニサウ云フ必要ヲ感ジテ居リマセヌシ、又此ノ機會ニ統一サレマシタ場合ニ於キマシテハ、今御話ノアリマシタヤウニ株主總會ガ總テ一諸ナリ、配當ガ一時ニ出テ來ルト云ツタヤウナ現象ヲ生ジテ、却テ面白クナイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○松田(正)委員 民間ノサウ云フヤウナ事情ハ御察シニナツテ居ルノデスカ、居ラスノデスカ、サウ云フヤウナコトハ此ノ戰時下ニ洵ニ相應シクナイノダト云フコトヲ覺ツテ居ラレノデスカ、是ハ私ハ日發ノコトヲ一ツ言ウタノデスカ、全國ノ法人ガ一株持ツテ居ル人ニデモ、大體今ノヤウナ考課狀一冊ト申シマス、如何ニ簡便ナモノニ致シマシテモ、コンナ十七、八頁位ノモノヲ一株持ツテ居ル株主ニモ渡サナケレバナラス、一株持ツテ居ル株主ニモ通知シナケレバナラス、一株持ツテ居ル株主カラ委任狀ガ來ヌデモヤハリ之ヲ再度請求スル、是ハ一株持ツテ居ル人ノ配當ト印刷物ヲ比

較スルト、配當ヨリモ印刷物ノ方ガ高い、ソナコトハドウデス、此ノ戰時下ノ紙ノナイ時ニ、全國ノ法人ガ之ニドレダケノ物資ヲ消耗シテ居ルカ、人的資源ヲ如何ニ之ニ消耗シテ居ルカト云フコトヲ考ヘテ見マス、雷ニ金融機關ノ簡素ノミデハナイ、一般法人ノ簡素化ト云フコトハ考ヘナケレバナラスコトデハナイノデスカ、今商法ノ規定ヲ變ヘルコトハ大問題デアルト言ハレタガ、何モ大問題デハナイ、政府ガヤラウト思ウタナラバ、大藏省ト商工省ノ方デ御考ヘニナルカ、何カノ方法ニ依ツテ考ヘテ、原案ヲ出サレバ何デモナイコトデアル、ソレガ困難デアツテ、此ノ金融機關ノ營業年度ヲ政府ノ會計年度ニ引付ケヨウト云フコトハ、簡便デアルト云フコトハ、ドウモ聞キ取レナイ話デアアル、ケレドモドウデセウ、理財局長、アナタハ之ヲ御認メニナリマス、全國ニ於テ法人ガ株主總會ヲ召集スル上ニドレダケノ物資ヲ消費シテ居ルカ、ソレガ爲ニ人的資源ヲ如何ニ窮屈ニシテ居ルカ、消耗シテ居ルカ、ソレ等ノコトニ付テハ會社ト云フ法人ノ監督上簡素化ト云フコトニナツタナラバ、何カ將來之ヲ考ヘテ、此ノ上事務ノ簡素化ヲ圖ルト云フヤウナ御考ヘハナイノデアリマス、アルトスルナラバアル、ソナラドウスルカ、斯ウ云フ風ニシタイト思フト云フヤウナ所ヲ一ツ記錄ノ上ノ關係モアリマス、御答辯ヲ願ツテ置キタイ

○田中(豐)政府委員 御話ノ如ク會社對株主ノ關係ニ於キマシテ、色々株主ニ通知ヲ出ストカ、決算報告ヲ出ス、總會ノ通知狀ヲ出スト云フヤウナコトハ、相當物資ヲ使ヒ、又人手ヲ要シテ居ルト云フコトハ御話ノ通

リデアルト思ヒマス、併シナガラ此ノ點ハ會社企業、株式會社組織ノ根本ニ觸レルデアリマス、株主ノ權利ト云フヤウナ問題ヲ中心ト致シマシテ、各種ノ問題ガアルト思フノデアリマス、隨テソレニ關スル物資、人手ト云フ面カラノミ之ヲ考ヘルコトハ聊カイケナイノデヤナイカ、適當ニアラザルモノガアルト思フノデアリマス、併シナガラ例ヘバ一株主ノ爲ニ、色々經費ヲ使ヒ人手ヲ使フト云フヤウナコトガ、國家經濟カラ見テ相當損失デアルト云フコトモ御話ノ通りデアリマス、デハアリマスガ、先程申シタヤウナ株式會社全體ノ現在ノ制度ノ下ニ於テサウ云フ觀點ノミカラ直チニ之ヲ改訂スルカドウカハ、餘程慎重ニ考究ヲ要スル問題デアルト思フノデアリマス、今後研究致シタイト考ヘテ居リマス

○松田(正)委員 研究シテ貰フト云フコトハ當然デアラウト思ヒマス、成ベク之ヲ早く研究願ヒマシテ、是等ノ事務取扱ニ付キマシテ、戰時下ノ時局カラ考ヘマシテ、成ベク物資ヲ節約シ、人的資源ノ消耗ヲシナイヤウナ方法ヲ執ツテ戴キタイ、サウスルト、今此ノ十二月デ決算シタモノガアリマスガ、三月三十一日ヲ以テ決算シナケレバナラスコトニナリマス、其ノ半端ノ三月ト云フモノノ爲ニ金融機關ニ支障ヲ起スヤウナコトハアリマセヌカ、サウ云フ點ニ付テ御研究ニナツタコトガアリマス

○山際政府委員 御話ノ如ク切替ノ時期ニ於キマシテ、極ク短イ事業年度ガ一ツ出來マス、其ノ點ニ關シマシテ現在アリマス各種ノ金融機關ノ現在ノ事業年度ヲ引直スコトニ當メテ考ヘテ見マシタガ、切替ノ際已ムヲ得ズ短イ事業年度ヲ一回ヤル

一回短イ決算ヲヤルト云フ點ニ手數ガ掛リマスルガ、別段支障ヲ生ズルコトデモナイト考ヘマシタノデ、是ハ經過的ニ已ムヲ得ナイコトトシテ、此ノ法案ヲ提案シタノデアリマス

○松田(正)委員 サウスルト三箇月デ決算ヲヤルコトニナリマスガ、其ノ三箇月ノ決算ハ毎半年期毎ニヤツテ居ツタ決算ニ準ジテヤルト云フコトニナリマス、總テ半端ノ帳面ヲ締切ラナケレバナラス、其ノ半端ノ帳面ヲ締切ルノニハ、此ノ法律ガ實施サレルノハ、四月一日カラデアル、サウスルトドウ云フコトニナルノデスカ、議會ノ開會日カラ申シマス、公布ノ日ヨリ之ヲ施行スト云フノデスカ、是ノ成立ハ議會ガ三箇月ト見マシテ三月ノ二十五日、スルト此ノ法律ガ出來ルダラウト云フ豫想ハ付イテ居リマス、實際是ガ法律トナツテ現ハレテ行クノハ四月以降ニナリヤシナイカ、スルト三月一日ニ遡ツテ行カ、ソレトモ近頃ノ議會ハ政府ノ言フコトハ何デモ聽クノダカラ、三月ノ中頃ニハ濟ンデシマフダラウ、二十日頃ニハ濟ンデシマフダラウ、スルト二月ノ末ニ之ヲ實施シヨウ、ソレナラ三月ニ間ニ合フト思ハレテ居ルノデスカ、其ノ點ヲ承リタイ

○山際政府委員 此ノ法律ノ經過的ナ適用關係ニ付キマシテハ、是ハ附則ノ規定ニ依ルノデゴザイマスガ、例ヘバ銀行ノ例ニ付テ申シマス、此ノ六月ヲ以テ終ルノデアリマス、事業年度ハ其ノ儘行ク考ヘデゴザイマス、而シテ此ノ法律ガ働キマスノハ七月以降ニナリマス、七、八、九ト三箇月ノ決算ヲ致シマシテ、十月カラ又新シイ事業年度ガ始マリマシテ、ソレガ明年ノ三月デ

終ル、明年ノ四月カラハ又新シイ事業年度ガ始マル、斯ウ云フ關係ニナリマスカラ、今年ノ上半期ハ從前通りノ決算ト云フコトニナツテ居リマス

○松田(正)委員 ソンナラソレデ此ノ法案ヲ出ス時ニサウ云フ説明ヲ願ヘバ、コンナ質問ヲスル必要ハナカツタノデスカ、フカシイデハナイデスカ、案サヘ出セバ議會ハ鵜呑ミニスルト思フテ説明サレナイカラ、コンナ質問ヲシナケレバナラス、何モ彼モソソナ筆法デヤラレルカラ、議論シナクテモ宜イヤウナコトマデ議論シナケレバナラスト云フコトニナルノデスカ、七月一日カラヤルト云フナラソレデ宜イ、ケレドモ是ニハ「公布ノ日ヨリ」ト云フコトニナツテ居ルカラ、何時公布スルカ分ラナイ、ソコデアンナコトモ言ハナケレバナラスノデスカ、今言フタコトハ少シ言ヒ過ギタカモ知レマセヌガ、近頃ノ議會ハ何デモ政府ノ出スモノハ鵜呑ミニスルノダカラ、是モ碌ニ説明ナドセヌデモ成立スルニ違ヒナイト思ツテ出シタノデハナイカト云フヤウナ……外ノ案デ少シ口ガ汚クナツテ居リマスカラ、申サナイデ宜イヤウナコトマデ申サナケレバナラスコトニナツテ來マス(笑聲)七月一日ナラソレデ宜シイ、ソンナラ今度ハ締切ラズル場合、長イコトニナル譯デスカ、其ノ長イコトニナルノト、賞與ノ關係其ノ他ニ付テ、小サイコトヲモウ少シ承リタイト思フノデアリマスケレドモ、是ハモウ事務ニ關スルコトデスカ、大藏省モ御忙シイコトト思ヒマスノデ、銀行ノ事務簡素化ニ關スルコトニ付キマシテハ是デ切リマス

次ニ臨時資金調整ニ付テ一寸承ツテ置キタイ、十條ノ三デスカ「政府ハ國民貯蓄ノ増

強ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ銀行、信託會社、保險會社、市街地信用組合其ノ他命令ノ定ムル者ニ對シ方法又ハ條件ヲ指定シ資金ノ吸收ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得」トアリマス、是ハ隨分強イ規定デゴザイマシテ、昔殿サシヤ將軍ガ百姓町人ニ御用金ヲ仰セ付ケタ、其ノ方ニ是ダケ御用金ヲ仰セ付ケルゾト言

ウタナラバ、町人百姓ハ、有難イ仕合せデゴザイマスと言ツテ、質ハ置イテ金ヲ獻納シタト云フコトガ、昔ノ專制時代ニハアルノデスカ、「命令ノ定ムル者ニ對シ方法又ハ條件ヲ指定シ資金ノ吸收ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得」ト云フ此ノ恐シイ命令ノ内容ハドウ云フモノデアリマス、之ヲ伺ツテ置カナケレバ盲判ヲ捺スコトニナリマスノデ……

○氏家政府委員 是ハ直接國民ニ對シテ命令スルモノデナイコトハ御分リノコトデアリマス、貯蓄ヲ取扱フ者ニ對シテ貯蓄増強ノ爲メ必要ナ手段ヲ執ラウト云フ場合ノ規定ナラバゴザイマス、大體ドウ云フコトヲ考ヘテ居ルカト申シマス、新種ノ貯金ヤ預金ヲ取扱ヘセウツト云フヤウナコト、ソレカラ貯蓄増強ニ付テ必要ナ施設ヲヤラセヨウト云フヤウナ場合、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、別ニサウ大キナ内容ヲ包藏シテ居ルモノデハナイノデアリマス

○矢野委員長 松田君ヨ御相談申上ゲマスガ、今御質問中デハアリマスケレドモ、昨日出席ヲ求メテ置キマシタ大藏大臣、森山政府委員ガ御捕ヒニナツテ御出席ニナリマシタカラ、アナタノ只今ノ質問ハ暫時中止セラレテ、昨日ノ問題ニ付テ引續キ質疑ヲ

シテ貫ヒタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマス

○松田(正)委員 ソレデ結構デアリマス、

○矢野委員長 ソレデハ大藏大臣、森山政府委員ガ御出席ニナリマシタノデ、昨日松田君ト南君カラ質問ノ留保ニナツテ居リマシタ點ニ付テ引續キ質疑ヲ許シマス——松田君

○松田(正)委員 漸ク表ガ昨日手ニ入リマシタモノデスカ、其ノ表ヲ十分ニ見ルコトガ出來ズ昨日質問ニ入ツタノデ、質問ヲ今日調べルマデ留保シテ置キマシタ、十分デハアリマセヌガ其ノ後ソレノ表ニ付テ調査ヲ致シマシタカラ、此ノ點ニ付テ昨日ニ引續キ大藏大臣ニ御伺ヒヲ致シタイト思ヒマス、此ノ表ニモアリマスル如ク、何レモ公債ハ年々發行シテ消化ヲ致シテ居ル、ソレデ第八十四號中改正法律案、ソレニ此ノ臨第一號臨時軍事費豫算追加案、是ノ十四頁ニアリマスル如ク、臨時軍事費ガ二百七十億圓、ソレノ歳入ハ公債及繰替借入金デ是ダケ、軍事費獻納金ガ是ダケ、ズツト斯ウ云フ風ニ一カラ示サレテ居ツテ十一、ソレカラ雜收入、借入金三十三億、斯ウ云フ風ニナツテ居リマスガ、是ハ豫算ニ現ハレタモノデ金高ハキチント分ツテ居リマス、此ノ分ツタモノヲ、公債ヲ發行スルト云フ此ノ委員會ニ此ノ數ヲ御示シニナツテ、今マデハズツト知ラシテ來タノデアリマス、ソレガ此ノ八十四號ノ法律ヲ改正シテ、此ノ金額ヲ現ハサズニ濟ムヤウニ斯ウ改正シナケレバナラスト云フノデアリマス、昨日モ其ノ意味ノ質問ヲ致シマシタガ、之ニ對スル大藏大臣ノ明答ヲ得テ居リマセヌ、ドウ云フ譯デ此ノ金高ヲ示サヌデ唯公債ヲ發行

シ、借入金ヲナスコトヲ得ト云フコトニセ
ナケレバナラヌノカ、ソコガドウモ私ニハ
分ラヌノデ、分ルヤウニ説明ヲ御願ヒ致シ
マス。

○賀屋國務大臣 是ハ昨日モ申上デマシタ
ヤウニ、是ガ御協賛ヲ經、臨時軍事費ノ御
協賛ヲ經レバ、年々公債ヲ發行シ得ルコト
ニナルノデアリマス、隨テ本年度ハ金額ガ
今何圓ト分リマスルガ、明年度以降ハ分リ
マセヌカラ、斯ウ規定シテ譯デアリマス、
臨時軍事費ハ議會ニ於キマシテモ必要ナリ
ト云フ點デ、始終急速ニ御協賛ヲ戴ク譯デ
アリマス、隨テソレノ財源トシテ公債ガ所
要デアルト云フコトモ亦明瞭デアリマスル
カラ、豫メ其ノ趣旨ヲ御決定ヲ願ヘバ、年
年形式的ニ御協賛ヲ願フコトガナクシテ濟
ム、斯ウ云フ理由デアリマス。

○松田(正)委員 サウスルト來年ハ豫算ノ
上デ公債及ビ繰替借入金ト云フヤウナモノ
モ、單ニ借入金ト云フモノモ區別ヲナサ
ヌ積リデアリマスカ、年々是デ行ク積リデ
アリマスカ。

○賀屋國務大臣 是ハ年々致ス積リデアリ
マス。

○松田(正)委員 豫算ト云フモノハ議會ノ
協賛ヲ經ナケレバナラヌノデスカラ、是ハ
年々サウシナケレバナラヌデセウ、サウス
ルト此ノ二百七十億ト云フモノハ、政府ガ
提出スルヲバ、直チニ之ヲ審議シテ急速
ニ利用セシムルヤウニシナケレバナラヌ、
ソレニ要スル所ノ公債發行、若シクハ借入
金ダカラ無論ハ早ク承認ヲ得テ居ルモノ
デアル、斯ウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居
ル御答辯カト存ジマスルガ、其ノ通りニ考
ヘテ宜シウゴザイマスカ。

○賀屋國務大臣 大體サウデゴザイマス

○松田(正)委員 サウ致シマス、此ノ豫
算面ニ現ハレテ居ルモノハ、豫算ノ辻褄ヲ
合ハス爲ニ現ハシタ數字デアツテ、此ノ豫
算ヲ實行スルノニハ、果シテドウ云フ風ニ
實行スルカ、此ノ公債ヲドウシテ消化スル
カト云フコトノ審議ノ程ハ、モウ是カラハ
出來ヌコトニナルノデアリマスルガ、ソレ
デ完全ニ消化ガ出來テ行クト大臣ハ思ハレ
マスカ。

○賀屋國務大臣 私ハ完全ニ出來ルト思ヒ
マス、豫算ヲ御協賛ニナルノハ、ソレダケ
ノ戰費ガ必要ナリトシテ年々御協賛ニナリ
マス、日本國民トシテ大東亞戰爭ニ勝ツ爲
ノ戰費ガ必要ナリト議會モ考ヘ、政府モ考
ヘマシタ國債ハ必ズ出來ルト思ヒマス。

○松田(正)委員 ソレデハ御伺ヒ致シマス
ルガ、此ノ表ニ昭和十二年以降各年度新規
公債發行豫定額及發行済額調ト云フノガア
リマスガ、之ニ依リマスト豫定額ハ十六年
ハ百三十九億七千四百萬圓、其ノ中百一億
九千九百萬圓シカ發行済ニナツテ居リマセ
ヌデ、三十何億位ノモノハマダ發行ニナツ
テ居ラヌ、又十七年度ハ今途中デ一月十九日
現在ニナツテ居リマスガ、ソレハ豫定額百
六十三億五千八百萬圓ノ中、百一十一億三千
萬圓シカマダ發行済ニナツテ居ラナイ、斯
ウ云フ風ニ年度々々ニ於テ——十七年度ノ
如キハマダ是カラ三箇月ノ間ニハ、アト殘
ラズ出スノダト言ハレルカモ知レマセヌ
ガ、十六年度ハヤハリ三十億圓位發行ヲ控
ヘテ居ルヤウデアリマスガ、是ハドウ云フ
譯デスカ、年々コンナコトニナツテ居リマ
スガ……

○賀屋國務大臣 ソレハ赤字公債デゴザイ

マスレバ、一般普通ノ歳入ガ豫算以上ニ餘
計取レマスレバ、ソレダケ政府ハ權能ヲ得
マシテモ公債ヲ發行セヌノガ當リ前デアリ
マス、ソレカラ又年度ノ途中デアリマスル
ト、歳出ハ年度ノ終リニ偏リマスジ、又翌
年度ニ繰越サレル場合ガ多イノデアリマス、
臨時軍事費ハ會計年度ノ區分ハアリマセヌ
ガ、事實上支拂ガ後ニナルコトガアリマス、
政府ハ成ベク金繰リガ許シマス限リハ、假
令金額ヲ明示シテ御協賛ヲ經マシテモ、公
債ヲ發行シナイ方ガ宜シイノデアリマス、
財政上金繰リガ付キ次第、他ノ歳入ガアリ
得ルダケ公債ノ發行ヲ延バシテ居ル、是ハ
昔カラ其ノ趣旨デアツテ居リマス、寧ロ是
ガ政府トシテハ財政ニ忠實ナルモノデア
ルト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、御承知
ノヤウニ十七年度デモ年額二百四十億ニモ
ナル歳計デゴザイマスシ、又支出ハ今後ニ
實際支出ノ現實ガ起ル、御承知ノヤウニ豫
算權ヲ得マシテ契約ヲ致シマシテモ、物品
ノ納入等ガ現實ニ起ツテカラ支拂ガアルノ
ガ普通デアリマシテ、今公債ヲ發行スルト
徒ラニ國庫ガ利子ヲ損スルヤウニナリマス
カラ、寧ロサウ云フ風ニ致シテ、年々依ツ
テ金額ノ多少コソアリマスガ、成ベク發行
ヲ後ニシテ行キタイ、是ガ財政運用ノ方針
デゴザイマス。

○松田(正)委員 此ノ公債ノ發行ハ、豫算
ガ通過シ、公債發行ノ法律ニ於テ其ノ金額
ノ承認ヲ致シテ居ツテ——實際公債ヲ發行
シテ居ラヌノハ、ソレガ財政上忠實ナルヤ
リ方デアルト云フコトハ承知致シテ居リマ
ス、發行ニ當ツテハ金融狀態ノ實際ヲ眺メ、
色々ノ借款ノ消化トカ、借換モアルトカ云
フコトモ睨合ハセテ、ヤハリ發行サレテ行

クノデアリマスカラ、其ノ決議ヲシテアルカ
ラト言ウテ、必ズ全部使ツテシマハンナラ
ヌモノデアリマセヌ、ケレドモ此ノ位三
十億圓モ發行ヲ見合ハシテ居ルワ、本年度
ノ如キモマダ五十二億圓バカリ殘ツテ居
ルワ、斯ウ云フ風ナ金高ガ一億二億ナラバ、
是ハ金融界ノ都合モアルシ、又物資ノ調ハ
ヌ部分モアルト云フコトニナリマスケレド
モ、昭和十六年度ハ百三十九億ノ中デ發行
シテ居ラヌノガ三千七、八億ニナリハシマ
セヌカ、年々ノ發行未済高ノ計數ガ餘リニ
多過ぎハセヌカ、今大臣ノ仰セラレルコト
ハ理窟ニハ適ツテ居リマスケレドモ、計數
ガ餘リ大キイコトハナイイカ、寧ロ斯ウ云フ場
合ハ——物資ノ生産計畫等モ睨合ハセテ財
政計畫ヲ立デルノデアリマスカラ、公債發行
ヲナス其ノ金額ニ於テ、或ル程度マデ考ヘ
ルコトガ出來ルヤウニスル、兎ニ角公債ヲ
發行スル權限ダケ取ツテ置ケ、ソレデ未済
ガドレダケアツテモ宜イウト云フコトニナ
ツテハ、ドウモ發行シテ行ツタ跡ヲ眺メマ
シテ、如何ニモ議會ト政府ノヤリ方ガ幅ガ
アリ過ぎルヤウニ見エル譯デアリマス、サ
ウ云フコトニナツテ行クト、簡單ニ素人ガ
考ヘマス、此ノ位發行セスト思ハレルナ
ラバ、モツト公債發行ノ額ヲ少クシテ置イ
タラドウカ、自然增收モアルト云フコトデ
アツタナラバ、自然增收ガドレ位アルト云
フコトヲ見込シテ置イテ、公債發行ノ額ヲ
縮メテ置イタラドウカト云フコトモ、見方
ニ依ツテハ考ヘラレル譯ナンデス、今私ガ
質問致シマスノハ、其ノ點ヲ申シテ居ルノ
デ、何モ此ノ公債ヲ發行スルコトニ異議ガ
アル譯デモ何デモナイ、發行未済高ガ數字
ニ於テ餘リ多過ぎルト云フヤウナコトヲ何

○松田(正)委員 此ノ公債ノ發行ハ、豫算
ガ通過シ、公債發行ノ法律ニ於テ其ノ金額
ノ承認ヲ致シテ居ツテ——實際公債ヲ發行
シテ居ラヌノハ、ソレガ財政上忠實ナルヤ
リ方デアルト云フコトハ承知致シテ居リマ
ス、發行ニ當ツテハ金融狀態ノ實際ヲ眺メ、
色々ノ借款ノ消化トカ、借換モアルトカ云
フコトモ睨合ハセテ、ヤハリ發行サレテ行

○松田(正)委員 此ノ公債ノ發行ハ、豫算
ガ通過シ、公債發行ノ法律ニ於テ其ノ金額
ノ承認ヲ致シテ居ツテ——實際公債ヲ發行
シテ居ラヌノハ、ソレガ財政上忠實ナルヤ
リ方デアルト云フコトハ承知致シテ居リマ
ス、發行ニ當ツテハ金融狀態ノ實際ヲ眺メ、
色々ノ借款ノ消化トカ、借換モアルトカ云
フコトモ睨合ハセテ、ヤハリ發行サレテ行

○松田(正)委員 此ノ公債ノ發行ハ、豫算
ガ通過シ、公債發行ノ法律ニ於テ其ノ金額
ノ承認ヲ致シテ居ツテ——實際公債ヲ發行
シテ居ラヌノハ、ソレガ財政上忠實ナルヤ
リ方デアルト云フコトハ承知致シテ居リマ
ス、發行ニ當ツテハ金融狀態ノ實際ヲ眺メ、
色々ノ借款ノ消化トカ、借換モアルトカ云
フコトモ睨合ハセテ、ヤハリ發行サレテ行

トカナサル御考ヘハナイカ、數字ニ於テ餘
リ多イコトヲモツト少クスル譯ニハ行カス
カ、斯ウ云フコトノ質問デス

○賀屋國務大臣 自然増収ハ、確カニアル
ト思ヒマスモ、毎年歳入豫算ニモ見込ム
譯デアリマス、ソレガ有難イコトニハ、ソ
レ以上ニ自然増収ガ出ル譯デアリマス、隨
テ色々ソコニ起債權ノ餘ルコトガ生ジマス
ガ、軍事費ニ於キマシテハ、何シロ戰爭ノ
コトデアリマスカラ、豫算ノ御協賛ヲ戴イ
タナラバ、ソレダケ歳出ヲ賄ヒ得ル財源ト
云フモノガハウキリシテ居リマセヌト、是
ハヤレマセヌ、戰爭ノ時ニ、實際金ガ要リ
マシタ時ニヤレナイコトニナリマス、ソレ
ハ從來カラ議會ガ御任セ下サツテ居リマス、
是ハハツキリ金額ヲ書イテモ書カヌデモ同
ジコトデス、其ノ中ヲ、政府トシテハ未ダ
支出ノ必要ガナイ場合ニハ、公債ヲ無駄ニ
早ク出サヌデ置カウト云フコトデ、寧ロ忠
實ニヤル譯デアリマス、ソレヲ頭カラ減サ
レマシテハ、ソレダケノ歳出ヲ政府ガ必要
トスル場合ニ出スコトガ出来マセヌ、是ハ
ドウシテモ其ノ金額ハ御協賛ヲ願フテ置キ
タイ、ソレダケノ御協賛ヲ願ハヌデモ宜イ、
歳出ガ不用ニナル、他ノ歳入モ明カニナル
ト云フ時ニハ、ソレハ特殊ノサウ云フ處置
ヲ致ス譯デアリマス、其ノ點ニ付キマシテ
ハ從來モ殆ド無用ナ公債ヲ發行シタト云フ
ヤウナコトハナイ、協賛ヲ經マシタ範圍デ
是ハ政府ノ行政、財政ノ實行ノ方針トシテ
約マシタルコトニ努メテ居ル譯デアリマ
ス、是ダケノ限度ハ御協賛ヲ願フテ置カナ
ケレバナラヌト云フ所ヘドウシテモ御協賛
ヲ願フテ置キマセヌト、是ハ一般經費ニ於
キマシテモ、戰爭ノ經費ニ於キマシテモ、

歳出ハアルガ、ソレニハソレダケノ財源ガ
辻褄ガ合ハヌト云フコトデハドウモヤレマ
セヌ、ソレガ見込ガ立チマスレバ、實行致
シマス、ソレハ殊ニ一般會計ニ起ル問題デ
アリマス、今回衆議院ヲ通過致シマシタ十
七年度ノ追加豫算ニ於キマシテモ、第二豫
備金等デ、或ハ歳出ノ節約等デ、財源ガ出来
ルコトガ三億圓位明白デアリマシタカラ、
是ハ赤字公債ノ權能ヲ得マセヌデ、實行上
ノ歳入超過額デ支辨スルト云フコトデ、衆
議院モ御審議ニナリ、通過シテ居ルノデア
リマス、ソレハ見込ガ立テバ、無論政府ハ
サウ云フ風ニ努メルト云フコトヘ、從來立法
手段デヤレル場合ニハサウ努メテ居ル譯デ
アリマス、一般會計ハ今ノヤウニ自然増収
ガ多イノデアリマスガ、軍事費ノ方ハ繰入
金額ナドモ決マツテ居リマス、ソレハ自然
増収等ガ色々多い場合ニハ、又翌年ニ繰入
レマス、サウスレバソレダケ法律デ參リマ
シテモ、自動的ニ公債ノ發行額ハ減ルト云
フ譯デアリマス、ヤハリ其ノ調節ハ是デ取
レルコトニ相成ルト思フノデゴザイマス

○松田(正)委員 豫算ガ減レバ宜イモノト
ハ考ヘテ居リマセヌ、豫算ハ理由ガ立ツ以
上ハ、斯ウ云フ時期デアリマスカラ、無論豫
算ノ上デ審議ヲシテ行クコトハ是ハ當然デ
アリマス、私ガ異議ニ考ヘマスコトハ、本
年ニ限ツテ南方開發金庫カラ三十三億圓ヲ
借りルト云フコトガ茲ニ初メテ出タノデア
リマス、ソレデ一體此ノ南方開發金庫ガ幾
ラ金庫券ヲ出シテ居ルカ、サウシテ今政府
ハ、出シテ居ル金庫券全部ニ向ツテ保證シ
テ居ルノカ、又ハ其ノ一部分ニ保證シテ居
ルノカ、茲ニ三十三億圓ト云フ借入ガ本年
初メテ出テ來マシタノデ、私モ餘リ此ノ點

ハ詳シク調べテハ居リマセヌガ、一應ノ御
説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○賀屋國務大臣 南方開發金庫ニ付キマシ
テハ、投融資ニ關シマシテハ政府ガ其ノ損失
ヲ補償スルコトニ相成ツテ居リマス、是ハ
前ニモ申上デマシタヤウニ、南方ト我が國
トノ通貨關係ハ、未ダ確定段階ニ行クノハ
少シ早イノデゴザイマスカラ、隨テ投融資
等ハ内地カラ圓デ送金ヲ致スト云フコトハ、
投融資自體ノ將來ニ對スル投資者ノ不安モ
アリマスルカラ、總テ南方開發金庫ニ於テ
ヤラセル、ソレデ所謂爲替上ノ危險ガナイ、
安心シテヤレルヤウニ致シマス、サウ致シ
マス場合ニハ、南方開發金庫ト云フモノハ、
將來ノ南方ト我國トノ爲替ノ比率ノ變動ニ
依リマシテ、損失ヲ受ケル場合ガアル、ソ
レヲ顧慮致シマシテハ必要ナ資金ガ出来マ
セヌカラ、茲デ國家ガ保證スルト云フコト
ヲヤツテ居ルノデアリマス、併シ只今マデ
ハ南方開發金庫ハマダ發券ヲ致シテ居リマ
セヌカラ、發券ニ對スル保證ト云フコトハ
アリマセヌ、今回ハ南方ノ事態モ軍、官民現
地住民等ノ協力ニ依リマシテ、餘程事態ガ占
領當初ヨリハ進シダ段階ニアリマス、而シテ
終局ニ於キマシテハ、是ガ大體統治區域毎
ニナルカト思ヒマスガ、ヤハリ發券銀行ヲ
作ツテ、通貨制度ヲ安定シナケレバナラヌ
ト云フ考ヘデ居リマス、併シ其ノ確定シタ
狀態ニ行クノハマダ早イ、ソコデ中間ノ段
階ヲ取りマシテ、軍票時代カラ南方金庫券
時代ニ移ツテ、然ル後ニ戰況、經濟狀態等
ノ安定シマシタ時ヲ見テ、最終ノ發券銀行
制度、通貨制度ニ行キタイ、其ノ途中デア
リマス、其ノ途中ノ發券ヲ致スコトニナリ
マシタ、ソレニ付キマシテハ十分ナ信用保

證ガ要ルノデアリマスカラ、先般豫算外國
庫ノ負擔トスル契約ニ依リマシテ、其ノ金
庫上ノ債務ノ保證ヲ政府ガ致シ得ルト云フ
コトノ協賛ヲ經ル手續ガ、衆議院デ濟ミマ
シタ譯デアリマシテ、是ハ議會ヲ通りマシ
タ、詰リ今回カラ保證ヲ致ス、斯様ニ相成
ル譯デアリマス

○松田(正)委員 特ニ之ニハ額ヲ示シテ居
リマセヌガ、ドレダケ發行シテ、ドレダケ
保證スルト云フコトノ見透シガ今デモ全ク
付カナイノデアリマス、是ハヤハリ國債
ト同ジヤウナ譯デ、憲法上カラ言ヒマス、
豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スベ
キモノニ入ツテ來ルモノト思ヒマスガ唯政
府ハ南方開發金庫ガ同金庫券ノ發行ニ依
リ負擔スベキ債務ニ關シテハ補償スルコト
ヲ得ト、斯ウ云フノデスガ、スルト是ハ何
處マデノ範圍ヲ持ツテ居ルモノカ、今大東亞
戰爭ハ戰ヒノ眞只中デアルカラ、ソシヤウ
ナコトヲ豫想シテ組ムコトハ出来ヌト申サレ
ルカモ知レマセヌケレドモ、大體一箇年ノ
見積リ位ノコトハ出來ルノデヤナイカト思
ヒマス、是ハ全然金高ヲ現ハシテ居リマセ
ヌガ、是ハドウ云フ譯デアリマスガ

○賀屋國務大臣 是ハ仰セノヤウニ見積ラ
ラナケレバイケマセヌ、豫算委員會デモ御
答ヘ申シマシタガ、最高發行限度ナドハ定
メナイ、是ハ全ク今定メマシタ所デ、現地デ
ドウシテモ戰費ガ必要デアアル、開發資金ガ
必要デアアル、其ノ開發ヲヤラナケレバ日本
ハ戰爭ニ敗ケルノデアリマス、是ハ絕對要
請デアリマス、サウ云フヤウニ、何モ自ラ
ノ戰爭ニ勝ツカ敗ケルカト云フ大事ナ行動
ヲ拘束スルヤウナ時期デハナイト思ヒマス、
隨ヒマシテ今最高發行限度ヲ決メマセヌ、

其ノ債務ハ何カト申シマス、恐ラク南方開發金庫ハ、此ノ發行シマシタ券ハ將來中央發券銀行ガ出來マシタ場合ニハ是ト引換ヘル、斯ウ云フ債務ヲ負フモノト一應推定致シテ居リマス、是ハ發券上ノ今後ノ施策ニ俟ツノデアリマシテ、一應私ノ卑見デゴザイマス、ソレヲ保證スルモノガナクテハナラス、是ハ現地住民モアルノデアリマスカラ、何トシテモ日本國家ノ信用ヨリ大キイモノハナイ、是等ヲ限ルトカ何トカシマス、現地住民ニ與ヘル感ジガ惡イ、日本國家ガ全幅ノ支持ヲシテ居ル、此ノ強味ガアレバ却テ人ガ安心スル譯デアリマス、是ハ詰リ外ノ歳出ニ關スル豫算外契約ノヤウニ何圓出スト決マツタ性質ノモノデアリマセヌ、國家ノ全幅ノ支援ヲ與ヘ、又現地住民ノ全幅ノ信頼ヲ受ケルト云フコトガ、此ノ戰爭ニ勝ツカ敗ケルカノ大事ナ時ニ必要デアル、其ノ意味ニ於キマシテ金額ヲ定メナイ方ガ目的ヲ達スルニ適當デアル、而モ是ハ國家ノ興亡ヲ賭シテノ戰爭ノ一ツノ大事ナ點デアリマス、左様ナ意味ニ於キマシテ金額ヲ決メマセヌ、是ハ憲法論カラ申シマス、決シテ違憲ニナリマセヌ、唯平時ノ憲法ノ運用トシテハ、金額ヲ直接決メルカ、自ラ決マル方法デ行クノガ私ハ妥當ダと思ヒマス、是ハ今國家ノ興亡ヲ賭スル曠古ノ大戰爭ノ際ノ措置デアリマスカラ、決メマセヌ次第デアリマス

○松田(正)委員 戰ニ勝ツ云々ト云フコトハ誰モ理解ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレヲ何カ國家ノヤリ方ニ向ツテ理解ヲ付ケテ、戰ハ敗ケテモ宜イ、ドウデモ宜イデハナイカト云フヤウナコトデ私ハ質問ヲ致シテ居ルノデアリマセヌ、ソレハ屢、大臣御

使ヒノ言葉デアリマシテ、私共トハ全く違ヒマセヌカラ、サウ云フコトデナク御解釋ヲ願ヒタイ、唯戰時ニ於ケルモノト、平時ニ於ケルモノト憲法上ノ解釋ヲ二様ニスルト云フコトガ、憲法ノドノ條章カラ出テ來ルカ、私ハ斯ウ云フ時代ニハ或ハ平時ノ解釋デハイカヌノデハナカラウカト云フコトヲ考ヘテ居リマスケレドモ、大體ニ於テ憲法ノドノ條章ニ於テ二様ニ解釋スルコトガ出來ルカト云フコトニ付テハ、私不敏ニシテ其ノ確信ガアリマセヌノデ、其ノ點ヲ一寸御伺ヒシタイノデス

○賀屋國務大臣 ソレヲ私ガ申上ゲテ居ルノデス、ドンナ場合デモ違憲デヤナイト申上ゲテ居ル、唯運用トシテ自ラモノニ依ツテヤリ方ハアル、解釋ハ毫モ違ヒマセヌ、違憲デナイコトハ明瞭デアリマス、唯其ノ運用ノ程度方針ト云フモノデス、違憲デハナイガ、何ガ妥當カト云フコトニ付キマシテハ事態自ラアリマス、ソレハ今ノ臨時軍事費モ違憲デナイ、普通ノ會計モ違憲デハアリマセヌ、併シ平時ニ於テハ會計年度ヲ區分シテ出ス方ガ妥當ナリト考ヘテヤツテ居リマス、戰爭ノ際ニ於テハ會計年度ヲ區分シナイヤウナモノモ御協賛ヲ願ツテ居ル、憲法ノ解釋ハ決シテ二様デアリマセヌ、唯政治上、行政上妥當ナ措置ヲ執ルノガ何レニアリヤ、斯ウ云フ考ヘデアリマス、ソレデ私共ハ平時の妥當カラ云ヘバ金額ヲ直接ニ決メルカ、自ラ決マル方法ノ方ガ宜シイ、斯ウ云フダケデゴザイマス、ソレデナケレバナラヌト云フコトヲ決シテ申上ゲテ居ルノデハナイノデアリマス、ソレデ今回ノ御審議ニナツテ居リマス公債法ハ、是モ寧ロ平時ノ立法ト同ジ程度ニナツテ居ル

ト云フコトヲ申上ゲテ居ル譯デアリマス、決シテ憲法ノ解釋ヲ二様ニ致シテ居ルト云フ譯デハゴザイマセヌ

○松田(正)委員 ソレハ今戰ツテ居ル時ニ、其ノ額ヲ決メヌ方ガ却テ現地ノ住民ニ對シテ感ジガ良イ、コソハ戰爭ニ勝ツ際ダ、斯ウ云フ風ニ大臣ガ思ツテ居ラレルノニ、私ガ兎ヤ角申上ゲル譯デハナイノデスガ、ソナラ大キク決メテ置イタラドウカ、此ノ會計法カラ申シマシテモ、豫備費ノ如キハ、「避クヘカラサル豫算ノ不足ヲ補フ爲ニ又ハ豫算ノ外ニ生シタル必要ノ費用ニ充ツル爲ニ豫備費ヲ設クヘシ」是ハ一體豫想スルノハ何處デ豫想ガ出來マスカ、之ヲ明細ニ申シマスレバ、災害其ノ他ト云フヤウナコトモ一ツノ理由ニナリマス、避クベカラザルト云フコトニナリマスガ、ソレデモ金額ヲ定メテ、豫算ノ上ニ第一豫備金、第二豫備金ト云フモノヲ定メテ居リマス、サウスレバ茲ニ金額ヲ定メズシテ保證スルト云フコトハ、是ハ戰術上斯ウダト言ヒマスケレドモ、是ハ大キクデモ宜シイカラ金額ヲ定メテ置イテ、之ヲ保證スルノダト云フコトニシテモ構ハヌデヤナイカ、今申シマスル如ク豫備費ガ斯ウシタヤウナマルキリ譯ガ分ラヌモノデモ、チャント金額ヲ豫想シテ、豫算面ニ金額ヲ現ハシテ居ル、今ノ豫算外ノ國庫ノ負擔ナル契約ヲナスベキ金高ヲ、豫備費ノヤウナ性質ノ上カラ言ウタラ、是モ私ハ出來ルノデヤナイカ、大キクシテヤツテ見タラドウカ、米國ノ軍事豫算、アレナドハ大キナコトヲ言ツテ居ルガ、實際消化出來ルカドウカ分リハセヌ、是ハ大臣モ御承知デアリマス、サウ云フ所ガアルノデアリマス、餘リ大キクナツタライカント云ツテ御

遠慮ナサツテ、斯ウ云フコトニシテ居ルナラ、是ハ却テ戰爭ノ爲ニナラヌコトデヤナイカト思ヒマス、今ノハ例ニナラヌカモ知レマセヌ、性質ガ違ヒマスカラ……、又問題ノ大小ヲ考ヘテ見マス、例ニハナラヌカモ知レマセヌガ、豫備費ノ一例ヲ以テ大臣ノ御考ヘヲ御伺ヒ致シマス

○賀屋國務大臣 南方開發金庫ノ方ハ、是ハ實際ノ影響ヲ御考ヘ下サルト宜イノデアリマスガ、法律論デハ違憲、違法デハナイ範圍デス、實際今ノヤウニ小サク五億ダトカ七億ダトカ決メテ置キマシテ、ソレ以上出タ場合ハ政府ノ保證ガナイ、是ハ非常ニ信用ヲ害シマス、ソレデハ百億ナドト決メタラ又ソナラニ祭ガ出タラ「インフレ」ニナツテ、是ハ堪ラヌト云フ感ジガ起ル、私ハ小サクモ決メヌ、大キクモ決メヌ方ガ國家ノ爲ニ宜イト思ヒマス、差支ヘナイヤウニ大キク決メタラ今度反對ニ、ソレデヤ大「インフレ」ガ起ルト云フ不安モ起ル、是ハ實際上ノ影響モ考ヘナケレバナラス、豫備費ノ方ハ憲法論カラ云ツテモ豫算デアリマスカラ、金額ヲ出サナイ豫算ト云フモノハ一寸出シニクイ、出ナイト思ヒマス、ソレデ金額ヲ決メナケレバナラス、避クベカラザルモノ、是ハ現實ニ豫備費ヲ出ス時ノ話デアリマス、誰モ豫備費ノ豫算ヲ組ム時ニ、此ノ事項ハ幾ラト云フコトガ明白ニ分レバ、豫備費ヲ組マズシテ當該事項ノ豫算トシテ出スベキモノデアリマス、ソレハ誰モ分リマセヌカラ見込デアリマス、避クベカラザル云々ト云フノハ、ソレハ現實ニ出ス時ニ、勝手ニ出デシハイカシ、避クベカラザル豫算外支出デ出セ、斯ウ云フ意味デアリマス、是ハ豫算デアリマスカラ金額ヲ決メザル

ヲ得マセヌ、南方開發金庫ハ、私只今ノ答辯
ノ初メニ述ベマシヤウナ考ヘ方デアリ譯
デアリマス

○松田(正)委員 サウ致シマスト豫備費モ
豫算デアルカラ金額ヲ現ハサナケレバナラ
ストズレバ、此ノ八十四號中改正法律案ニ
アル所謂其ノ公債ノ發行高、借入高ト云フ
モノモ、自ラ豫算ヲ取ツテ來タモノニ相違
ナイ、サウスルト豫備費ノ金額ヲソコデ現
ハシテ居ルナラバ、此ノ公債發行ノ借入ノ
金額ハ現ハスノガ當然デヤナイカト思ヒマ
スガ……

○賀屋國務大臣 是ハ法律デアリマシテ、
豫算デアリマセヌ、違ヒマス、現ニ度々
申上ゲマシヤウニ、違憲論ガナクシテ同
様ナモノガ澤山議會デ御協賛ニナツテ居ル、
是ハ法律ナノデス、所謂豫算ノ中ニハ金額
ハ總額何圓ト出デ居リマス、金額ノナイ豫
算ハアリマセヌガ、法律ハ金額ノナイ法律
ハ幾ラモアリマス、殊ニ今ノヤウナ豫算外
國庫ノ負擔トナルベキモノニ付キマシテモ
幾ラモアリマスノデ、是ハ兩者違ヒマシテ
モ差支ヘナイト存ジテ居リマス

○矢野委員長 一寸速記ヲ止メテ下サイ
〔速記中止〕

○矢野委員長 ソレデハ休憩ヲ致シマシテ、
午後三時カラ會議ヲ開キマス
午後零時二十三分休憩

午後三時三十分開議

○矢野委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス
此ノ際委員各位ニ御諮リ致シマス、南雲

正朝君ト大橋清太郎君ガ病氣ノ爲メ委員ヲ
辭任セラレマシタ、同時ニ理事モ辭任ニナル
ノデアリマス、ソレデ新シク松浦伊平君ト清寛

君ガ委員トシテ指名サレタノデアリマスガ、
此ノ際理事ノ補缺選舉ヲ致シタイト存ジマ
スガ、委員長ニ於テ指名スルニ御異議アリ
マセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○矢野委員長 御異議ナシト認メマス、ソ
レデハ委員長ニ於テ指名致シマス——清寛
君ト森川仙太郎君ノ兩君ニ御願ヒ致シマス
是ヨリ質疑ヲ續行致シマシテ、休憩前ニ引

續キ、松田君ノ質疑ヲ許シマス——松田君
○松田(正)委員 豫算外國庫ノ負擔トナル
ベキ契約ヲ爲スヲ要スル件ト云フノニ付
テハ、午前中南方開發金庫ノコトニ付テ大

藏大臣ニ御伺ヒ致シマシタ、大體産業資金
其ノ他發行等ニ付テモ分リマシタ、唯私ハ
出來得ルナラバ此ノ公債發行額ト南方開
發金庫カラノ借入トヲ比較致シマシテ、出
來ルダケ一般國內公債ノ額ヲ縮メ、此ノ
三十三億ト云フ本年度ノ借入金ヲ増額シ、
又一方内地ノ公債ヲ減少スルト云フヤウナ
コトヲ希望致シテ居リマス、何レニ致シマ
シテモ、此ノ公債ヲ發行スルト云フコ
トニナリマス、ヤハリ金額ヲ御決

メニナツテ、其ノ消化ニ國民ガ努力シ、議
員モ微力ナガラ御手傳スルト云フヤウナ方
式ニ行クノガ宜イノデヤナイカト云フコト
ガ、此ノ間中質問致シテ居ル趣意デアリマ
ス、ソレデ是モ見積ルコトノ出來得ナイモ
ノナラ別デアアルガ、豫算ニ數字ガチヤント
載ツテ居ルカラ、別ニ之ニ舉ゲラレヌト云
フ理由ハナイノデヤナイカト思ハレマス
ガ、マダ大臣ノ方カラソレニ對シテ私共ノ
意中ニ嵌ツタ御答辯ガナイノデアリマス、
實ハ此ノ間中モ國民ノ所得ハ五百億圓ト踏
ンダト申サレタ、ソレナラ五百億圓ト見テ

税金、國稅、地方稅、其ノ他國民ノ負擔ト
ナルベキモノヲ約百三十億圓位引ク、國民
貯蓄二百七十億圓ヲ引ク、斯ウ云フ風ニナ
ツテ來テ、其ノ所謂國民ノ貯蓄ガ公債ヲ消
化シ、産業資金ヲ出シテ行ク、國民ハ皆之
ニ目安ヲ置イテ、其ノ目標ヲ達成ヲナサシ
トシテ、政府ト共ニ協力シナケレバナラヌ

ト思ツテ精進ヲシテ居ルノデアリマス、ソ
レデ豫算ニ數字ハ現ハレテ居ルガ、豫算ハ
辻褄ヲ合ハスダケノモノデアアル、數字ガ合
ハナケレバナラヌノダカラ舉ゲタノダ、本
年ノ公債ハ是ダケアルト云フコトヲ將來現
ハサナケレバナラヌコトニナツテ居ル、サ
ウスルト此ノ委員會ニ借入金ガ幾ラデ、公
債發行ガ幾ラト云フコトヲハツキリ御示シ

下サツタ方ガ宜イノデハナイカト云フコト
ニ歸着スルノデアリマス、大臣ハオイデナ
カツタノデスケレドモ、ナゼサウ云フコト
ヲ切望スルガト云フト、此ノ委員會ニ於キ
マシテモ、國民貯蓄ハ下ウダラウ——此ノ
間モ恩給局長ニ質問ヲ致シタ、一體恩給ハ
段々殖エテ行ク、之ヲ整理スル途ガアル
ガ、ナゼ整理ヲシナイノカト云フコトモ質
問ヲ致シタ、ソレカラ多額ノ所得ヲ取ツテ

居ナガラ恩給ヲ取ツテ居ル者モアルデヤナ
イカ、別段恩給ヲ當テニシテ生活シナケレ
バナラヌ窮屈ナ者デハナクテ、恩給ガナク
テモ樂ニ暮セル者ニハ、恩給ヲヤラズニ公
債ヲ割當テタラドウカ、今百圓ノ賞與ヲ貰
フノデモ幾ラカノ公債ヲ割付ケテ居ルデヤ
ナイカ、サウ云フヤウナコトヲ考ヘテ、全部
ノ公債ヲ消化スル一ツノ體制ヲ整ヘテ行ク
ト云フコトニ、オ互ヒニ議會人モ政府モ協
力シテヤルト云フ精神ノ下ニ、サウ云フ所マ
デ御伺ヒシタ、況ヤ未亡人ガ主人ガ亡クナ

ツテカラ以來、遺族扶助料ヲ取ツテ居ナ
ラ嫁入りヲ致シテ居ル、或ハ養子ヲ貰ツテ
居ル、ソレデ籍ヲ入レテ居ラヌ、籍ヲ入レ
タラ扶助料ヲ呉レヌカラ籍ヲ入レヌデ夫婦
ニナツテ居ル、ソレデ遺族扶助料ヲ貰フカ
ラハ餘分ナ收入ダト云フノデ、夫婦連レ
デ、夫亡キ跡ニ旅行シテ見タリ、色々詰ラ
ヌヤウナモノヲ買ウテ見タリ、芝居ヲ觀ニ

行カウデヤナイカト云フヤウナ例ガ澤山ア
ル、コンナヤウナコトヲ整理シタラドウカ、
整理出來ルノデハナイカト思フ、甚シキニ
至ツテハ前ノ夫ノ爲ニ遺族扶助料ヲ貰ツテ
居ルノニ、夫ガ亡クナツテカラ間モナクサウ
云フ縁ヲ結ンダ者モアリマスシ、暫クハ夫
ノ佛前デ朝晩共燈明ヲ點シテ御禮ヲ言ウテ

居ツタ者ガ、嫁入りヲスレバソレモ出來ナ
イ、養子ヲ取レバ養子ノ手前モ惡イカラ、
燈明一本モ點サズニ居ルト云フヤウナコト
ガ、人情徳義ノ上カラ言ツテモイカヌデハ
ナイカ、ト云フヤウナ所マデモ御質問申上
ゲタヤウナ譯デアリマス、私ガ大臣ニ質問ヲ申
上ゲテ居ル要旨ハ、結局此ノ公債ノ消化ニ付
テ、眞心ヲ持ツテ政府ト國民ト協力シテ行
カナケレバナラヌ、ソレガ爲ニハヤハリ今

マデ通りニ軍事費ノ數字ヲ此處ヘ表ハシテ、
サウシテ軍事費ノ數字ヤ公債ノ數字ハ是ダ
ケダ、特別會計ハ是ダケダ、臺灣トカ樺太、
朝鮮ノ事業公債ヲ是ダケ發行スルノダト云
フ事情ヲ一ツニ纏メテ、之ニ向ツテ國民ガ
協力スルト云フ今マデヤリ來ツタコトヲ、
殊更ニ此ノ法律ヲ本年出シテ、繰入金等ヲ
引イタ歳入不足ハ勝手ニ出シ得ルト云フヤ
ウナコトヲ出スコトハ、政府自身トシテモ、
又國民モ水臭ク感じハセヌカ、斯ウ云フ意
味御質問ヲ申上ゲタノデアリマス、ソレ

デ尙ホモ諄イヤウデアリマスガ、吾々ノ此ノ意中ヲ御諒察ヲ願ヒマシテ、大臣ハ之ニ數字ヲ示シテ今マデ通りヤルト云フ御考ヘハマダ付カヌモノデアリマスカ、伺ツテ置キタイ

○賀屋國務大臣 戰時ニ於キマシテ是非トモ必要デアリ、而モ非常ナ金額ニ上リマス國債ノ消化ガ出來ルヤウニ、其ノ爲ニハ多數ノ國民ニ互リマシテ努力スベク施策スベキコトガ非常ニ多イノデアリマス、ソレ等

協力スルト云フ御考ヘハ、是ハ洵ニ吾々モ多トスルモノデアリマス、是非色々御考ヘヲ願ハナケレバナラヌ譯デアリマス、政府ト致シマシテモ、國民貯蓄ノ委員會ニハ衆議院ヤ貴族院ノ方ニモ相當多數出テ貰ツテ

居リマスシ、又貯蓄ニ關スルコトニ付キマシテモ常ニ新シキ工夫ヲ要シ、其ノ中ニハ立法事項モアリマスノデ、大概殆ド例外ナク毎議會ニモ出テ居ルト思ヒマスガ、公債

法ノ審議ノ機會ニ於テモソレ等ノ御意見ヲ承リ、考ヘヲ申上ゲルト云フコトハ、是ハ極メテ大切デアリ、私共モ歡迎スル所デアリマス、臨時軍事費ニ付キマシテハ、其ノ金額ハ毎議會ニ、只今提案致シマシタ方法

ニ依リマシテモ明瞭ニ分ルコトデアリマス、又臺灣事業公債、鐵道公債、道路公債、通信事業公債ニ致シマシテモ、ソレニ關スル法律案ガ通信、鐵道、道路ニ付テハ出マセ

アリマスカラ、之ヲ御審議願フ機會ハ、豫算委員會ニ於テハ固ヨリデアリマスガ、今マデノ例ニ徴シマシテモ、例ヘバ臨時軍事費ニ付キマシテモ、公債法等ノ委員會デ必ズ御論議ヲ願フ機會ハ、是ハ十分ニアラウト

存ズルノデアリマス、サウ云フ際ニ於テ能ク御意見ヲ承リタイ、斯ウ存ジテ居ル次第デアリマス

○松田(正)委員 道路公債或ハ通信、鐵道、サウ云フモノニ對スル公債デスガ、是ハ法律案モナク、サウシテ議會ノ協賛ヲ經ズン

テ公債ノ發行ヲヤツテ居ルノカ、ソレハ法律モ何モナクテ、單純ニ豫算ノ上ニ數字ダケ表ハシテ、ソレデ公債ニ依ルト云フダケ

デズツヤツテ居ツタノデアリマスカ

○賀屋國務大臣 ソレハ法律ノ協賛ヲ既ニ受ケテ居ルノデス、唯年々受ケナイト云フ

ダケデス、包括シテ豫メ受ケテ居ル譯デアリマス、是ハ法理的ニ申上ゲレバ幾ラモアリマス、例ヘバ特殊會社ノ損失ヲ補償スル

是ハ一度特殊會社法デ御協賛ヲ得レバ、損失ガアレバ年々補給ヲ致シマス、サウ云フ

風ニ、是ハ豫メ左様ナコトヲ致シ得ル法律ノ御協賛ガ濟ンデ居ル、斯ウ云フ譯デアリ

マス

ス、ソレハ此ノ委員會ニ掛ツテ居リマスル公債ト、大東亞戰費ノ費用ヲ捻出スル公債トハ、自ラ性質ガ異ツテ居ルト云フコトヲ

政府ノ方デ御認メニナリマスカ、ドウカ

○賀屋國務大臣 是ハ多少ヅツハ皆違ヒマス、通信事業ヤ鐵道ハ、其ノ收益デ以テ元

利ノ償還ガ出來ル、一應ハ其ノ建前デアリマス、併シナガラソレハ建前デアリマシ

テ、サウ決マツタモノカト言フト、例ヘバ今回ノ陸運ノ増強デ非常ニ金ガ要ル、

又戰時ニ必要ナル物資ノ輸送ヲ確保シナケ

レバナラヌ、其ノ貨物輸送ガ殖エル、而モ

斯カルモノハ運賃ノ收入ヲ擧ゲテハ戰時經

濟政策ニ合ハナイ、收入ノ多イ旅客運賃ノ

方ハ、需要ガアツテモ輸送量ヲ減ラシテ行

クト云フヤウニ、違ツタ事態ガ生ジマスレ

バ、又採算ノ基礎ナドガ變ツテ行ク場合モ

アリマス、一應ハ元利ノ償還ノ建前デア

リマスガ、又違ツテ來ル場合モアリマス、

ソレカラ交付公債ニ致シマシテモ、是ハ交

付公債ナルガ故ニ元利ノ償還ガ出來ヌト云

フ譯デハナイ、多クハ當該特別會計デ返サ

ナケレバナラヌ、併シ是等ハ所謂生産公債

トハ違ツテ居ル、又道路公債ニ致シマス、

是ハ一般會計ノ所屬デゴザイマシテ、道路

ニ伴ツテノ收入ガ別ニアルト云フ譯デモア

リマセヌ、併シ結局同ジデアル、然ラバ大

東亞戰爭公債ハドウカ、是ハ國家ノ必要上

償還ガ出來ルカラヤルトカ、利拂ガ出來ル

カラヤルトカ云フヤウナ問題ヲ超越シテ居

ル、私ハ是ホド確カナ公債ハナイト思ヒマ

ス、之ヲ平時限的ニ確カデナイトシタナラ

バ、是ハ發行セヌカ、國民ガ應募セシカト

云フ性質ノモノデハナイ、國民ガサウ云フ

眼デ應募シマセヌケレバ、戰爭ニハ勝テナ

イ、戰爭ニ敗ケ國滅ビテ、何ノ財産ガ茲ニ

アリマセウカ、何ノ生産ガアルカ、何ノ收

益ガ茲ニアリマセウカ、超越シテ居ルノデ

アリマス、而モ今ノ戰爭タルヤ、是ガ勝利

ヲ得マシテモ、日本ガ經濟的ニ發展ヲシ、

財政ノ基礎ガ鞏固ニナルノデナケレバ、私

ハ眞ノ勝利ハナイト思フ、何カノ都合デ日

本ノ國力ガ衰微シテ、或ル戰團ニ勝ツテソ

レデ「アメリカ」ト講和ガ出來タト致シマシ

テモ、斯カルモノハ眞ノ勝利デハナイ、向

フノ國力ガ依然トシテ強ケレバ、或ハ月ナ

ラズ、年ナラズシテ再ビ戰爭ガ起ツテ、日

本ハ敗北セザルヲ得ヌノデアリマス、少ク

トモ彼ガ東洋ニ於テ日本ニ拮抗シ得ザル程

ノ日本ノ國防力ヲ持ツテ、初メテ眞ノ勝利

ガ參リマス、國防力ハ日本ノ固有ノ精神力

ガ其ノ中核ヲナスモノデアリマスガ、何ト

シテモ近代戰ニ於テハ優秀ナル裝備ヲ持タ

ナケレバナラヌ、其ノ十全ナル補給力ヲ持

タナケレバナラヌ、其ノ爲ニハ背後ノ生産

力、經濟力ト云フモノガ強クナケレバ、到

底持テナイノデアリマス、少クトモ今、日

本ノ力ノ及ンデ居リマス大東亞共榮圈ノ

資源ヲ開發シテ、ソレヲ生産過程ニ移シ、

必要ナル運輸交通ノ設備ヲ完備シマシテ、

サウシテ是ガ戰力ト戰時國民生活ノ糧トナ

ルヤウナ所ニ持ツテ行カナケレバ、戰爭ノ

勝利ハナイト思ヒマス、ソコマデ行クカ、

敗ケテ滅ブルカト云フコトガ、所謂國家興

亡ノ戰爭デアルノデアリマス、ソコマデ行

ツタ時ニ日本ノ經濟力ハ發展セザルヲ得ヌ

シ、發展ヲシテ居ル、セナケレバ敗ケデ

アル、是ハモウ是ホド財政ノ基礎ノ確實ナ

モノハナイ、ソコマデ行カナケレバ日本ノ

運命ト云フモノハ滅ビル、日本ノ運命アリ

トスレバ、斯カル鞏固ナ基礎ノ所マデ行カ
ナケレバナラス、私ハ此ノ公債ト云フモノ
ハ、是ホド安全ナモノハナイト思ヒマス、
ソレガ今公債ハ不安ダカラ株券ニ行クカ、
株券ニ行ツテ日本ガ減ビタナラバ株券ノ何
處ガ安全デアリマセウ、社債亦然リデア
ル、サウ云フヤウナ選擇ノ餘地ナドト云フモノ
ハ是ハ超越シテ居ル問題デアルト考ヘル、
又ソレヲ形而下ニ考ヘマシテモ、勝チ拔ケ
バ是程安全ナモノハナイ、敗ケレバ是程不
安ナモノハアリマセヌ、モウ普通ノ投資眼
ヲ超越シテ行ツテ、初メテサウ云フ立派ナ
經濟的基礎ニ行クト私ハ考ヘテ居リマス

○松田(正)委員 一寸表ヲ見落シテ居ルモ
ノガアリマス、茲ニ十億五十萬圓デスカ、
特別會計ト云フモノガアツテ、是ガ今年ノ
鐵道トカ其ノ他ノ會計ノモノデアリマス
ガ、是ノ内譯ヲ私持ツテ居ルノデセウガ見
當リマセヌノデ……

○植木政府委員 特別會計全體ノ公債發行
豫定額ハ十億五千餘萬圓ト相成ツテ居リマ
ス

○松田(正)委員 サウ致シマス、此ノ公
債ヲ發行スル法律ハ何年ノドノ議會ニ於テ
協賛ヲ經タノデアルカ、其ノ法律ガ出來テ
カラ以來ドレダケノ公債ヲ發行致シテ居ル
カ、ト云フコトヲ承知致シタイクデアリマ
スガ、ソレ等ノモノハ書面デ御回答願フ譯
ニハ參リマセヌカ

○植木政府委員 調査ノ上提出致スコトニ
致シマス

○松田(正)委員 私が昨日來質問ヲ致シテ
居リマスル此ノ特別會計ノ公債ト、茲ニ言
フ所謂戰時公債トノ性質ノ違ツテ居ルト云
フ點デアリマス、憲法上ノ話ニナリマス、

結局一ツノモノニナツテ來ルヤウデアリマ
スガ、今ノ書類ノ御報告ヲ戴キマシテ私ハ
特別會計、或ハソレニ關聯致シマスル法律
ヲ一週調査致シマス、其ノ上デ更ニ質問ヲ
繼續シタイト思ヒマスガ、今南君ノ牽聯ノ
質問モアルヤウデスシ、私ハ四時カラ一寸
用事ガアリマスノデ、此ノ程度ニ於テ南君
ニ譲リマシテ、其ノ御報告ヲ戴イテカラ更
ニ御質問申上ゲタイト思ヒマス

○矢野委員長 松田君ニ申上ゲマスガ、特
別會計ニ於テ發行スル公債額十億五千餘萬
圓ニ付テハ、如何ナル根據ニ依ツテ政府ガ
發行スル權能ヲ得テ居ルカ、其ノ法律ノ根
據別ニ其ノ公債額ヲ知リタイト云フコト、
ソレカラ其ノ各ノ根據法ニ依ツテ、是マ
デニ幾許ノ公債ヲ發行シテ來タカト云フ其
ノ數字ガ欲シイト云フノデスネ

○松田(正)委員 サウデス

○矢野委員長 御聞及ビノ通りデアリマスガ
ラ、政府委員ハ其ノ正確ナル數字ヲ根據法
ヲ、一ツ明日ノ此ノ委員會ニ御報告ヲ願ヒ
マス、ソレデハ南君ニ質問ヲ許シマス

○南委員 我ハ實ハ別ノ委員會ニ急イデ居
リマスノデ、極メテ簡單ニ要點ダケヲ昨日
ノ質問ニ補足シテ致シタイト思ヒマス、端
的ニ申シマスガ、先ヅ御當局ハ會計法第六
條ノ三項ト云フモノヲドウ云フ風ニ御解釋
デゴザイマスカ、條文ヲ其ノ儘見マスルト、
借入金ハ……

○矢野委員長 南君、御發言中デスガ、會
計法第六條ハ吾々分リマセヌカラ、ハツキ
リ讀上ゲテ下サイ

○南委員 會計法第六條ノ三項ニハ「大藏
省證券及借入金ノ最高額ハ毎年度帝國議會
ノ協賛ヲ經テ之ヲ定ム」トアル、此ノ文面

カラ見マスルト、本八十四號中改正法律案
ヲ其ノ儘通スト云フコトニナリマス、此
ノ第一項「借入ヲ爲スコトヲ得」ト云フ其ノ
借入金ハ、毎年最高額ヲ定ムルコトヲ要ス
ト云フコトト矛盾スルコトニナルノデアリ
マスガ、此ノ點ハ憲法附屬ノ重要法典タル
會計法ノ御解釋上、此ノ法案トドノヤウナ
關聯ニ御考ヘデアリマスカ、先ヅ其ノ點ヲ
御伺ヒ致シマス

○賀屋國務大臣 關聯ハ何モアリマセヌ
○南委員 關聯ハナイト云フノハ、會計法
六條ト云フモノハアツテモ、毎年協賛ヲ經
ベシト云フコトデナクテ宜シイト云フ意味
デセウカ

○賀屋國務大臣 ソレハ第六條ノ三項ニ規
定ガアリマスヤウニ、協賛ハ必要デアリマ
ス、此ノ借入金ト云フノハ、第一項ヲ見マ
スルト、「政府ハ國庫金出納上必要アルトキハ
大藏省證券ヲ發行シ又ハ日本銀行ヨリ借入
ヲ爲スコトヲ得」此ノ借入金デアリマス、ソ
レ以外ノ借入金ヲ指シテ居ナイノデアリマ
ス

○南委員 是ハ年度内ニ必要ナ借入ヲスル
ト云フヤウナ狹イ意味ノ借入金デアルト云
フ風ニ今御解釋ニナツテ居ルヤウニ見ユ
マスガ、此ノ條文ノ第三項ヲ見ルト、限
定シテ意味デナク、單ニ借入金ト云フコ
トダケヲ書イテアルヤウデアリマスガ、
是ハ私ノ研究ガ足ラナイカモ知レマセヌ
カラ、只今ノ大藏當局ノ御解釋ヲ唯承
ツテ置クコトニ致シマシテ、私ハ又改
メテ研究ヲシテ見タイト思ヒマス、ソレ
カラ次ニ、先程來松田委員カラノ御質問
デ御觸レニナツタ點ハ、南洋開發金庫ノ
發行券ニ對スル保證ノ問題デアリマシタ、

ソレハ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ト
云フコトデ、勿論憲法ノ表向カラ行ケバ、
ソレダケ責任ガ加ハルト云フコトニナリマ
セウガ、併シ私ノ見ル所デハ、ソレニシマ
シテモ其ノ方ハ大イニ辯解ノ餘地ガアルト
思フ、此ノ本法案ノ場合ト違フト思フ、保
證ヲスルト云フコトハ唯抽象的ナモノデア
ツテ、保證債務ハ負擔スルト云フコトニハ
ナリマセウガ、本債務ト云フモノハ別ニア
ツテ、ソレガ損失ヲシタ時分ニ具體的ニド
レダケ國家ガ負擔ヲスルカト云フ問題ハ先
ニ殘ツテ居ルノデアリマス、デアルカラ保
證債務ヲ引受ケタト云フヤウナ性質ノモノハ、
是ハ辯解ノ餘地ガアルト思フ、現實ニ公債
ト云フヤウナ形、或ハ借入金ト云フ形デ國
家ガ債務ヲ直接ニ引受ケルト云フ場合ト、
サウデナクシテ南方開發金庫ガ現實ニ負擔
シテ居ル所ノ債務、ソレニ對シテコツチハ
保證スルノダト云フ場合ハ段階ガ違フト思
フ、デアルカラ具體的ニ今日國家ガ債務ヲ
負擔スルノダト云フ場合ト區別シテ考ヘテ、
ソレニハモツト寛大ナル解釋ヲスルト云フ
餘地ハアリハシナイカト思ヒマス、況ヤ私
ノ考ヘヲ以テスレバ、ソレデモ尙且ツ此ノ
憲法六十二條ヲ以テスレバ、ヤハリ其ノ都
度協賛ヲ經ベキモノト思ヒマスガ、ソレハ
緩ク解釋シテ辯解ノ餘地ハアリ得ルト思フ、
併シ此ノ八十四號ノ改正法律案其ノモノニ
付キマシテハ、是ハ辯解ノ餘地ハナイト思
フ、ト云フノハ、實ハ法律ヲ執行スル爲ノ
勅令ト云フモノト豫算ト云フモノトヲ混同
シテ居ルノデハナイカ、ト云フ風ニ批判セ
ラレル餘地ガアルト思フ、ト云フノハ、是
ハ法律ダカラ、法律ナラバ法律ヲ執行スル
爲ノ執行命令、即チ總動員法ニ對スル各種

ノ勅令ト云ツタヤウナモノヲ認メルト云フコトハ、法律ニ對スル勅令トシテアリ得ルノデアリマスガ、是ハ豫算ハ勅令デハナイ、此ノ法律ガ出來タカラ、此ノ法律ニ基イテ豫算ヲ作ツテ、ソレデ公債發行ガ出來ル、サウ云フ性質ノモノデハナイ、豫算ト云フモノハ執行命令デハナイノダカラ、法律サヘ作ツテ置ケバソレデ宜シト云フ、其ノ法律ヲ執行スル爲ニ、豫算ヲ組ミサヘスレバ宜シト云フ性質ノモノデハナイ、隨デ此ノ法律ガ假ニ出來マシテモ、尙且ツ議會ノ協賛ヲ經ベシト云フ六十二條第三項ノ此ノ義務ハ、此ノ法律ガ出來タ爲ニ失ハレナイト思フ、是ハ唯法律ガ出來タト云フダケデ、此ノ法律ガ出來タカラト云フテ、是ハ内容ノナイ法律ダ、内容ノナイコトニ付テ規定シタ所ノ法律ナラバ、協賛ヲ經ルト云フ事實ハナイノダカラ、抽象的ナル白紙委任狀的ナル法律デアリマスカラ、サウ云フ法律ガ假ニ出來マシテモ、尙且ツ憲法第六十二條ノ第三項ニ基ク、國債ヲ發行スル場合ニハ帝國議會ノ協賛ヲ經ベシト云フコトハ殘ルト思フ、之ヲ其ノ儘協賛ヲスルト云フコトハ、サウ云フ無駄ナコトヲシナケレバナラス、アトデ憲法ノ疑義ヲ殘スト云フヤウナコトハ考フベキコトデハナイカ、斯ウ云フヤウナ法律ヲ出サナケレバ豫算ノ運用ガ出來ナイカ、戰爭遂行ニ邪魔ニナルカ、妨ゲガアルカト云フ方面カラ見マス、何ニモ妨ゲハナイ、從來通り豫算ガ決マレバ、其ノ豫算ニ計上シテアル額ダケノ公債ナリ借入金ナリト云フモノニ付テ、赤字公債並ニ協賛ヲ經レバ宜シイ、ソレヲ協賛セストカ言ツテ邪魔サレル危險デモアルナラバ、是ハ大イニ御考ヘニナツテ、一本ニシテ、

邪魔ヲ排除シヨウト云フヤウナコトモ御考ヘニナル餘地ガアリマセウガ、何等吾々ハサウ云フヤウナコトヲ考ヘテ居ラス、敏速確實ニ、モウホンノ唯手續ダケデ以テ軍事費豫算ハ一瀉千里ニ通ル、ソレト同ジデ、ソレニ支障ヲ來サヌヤウニ、公債發行ニ關スル法律ノ改正ト云フモノハ、金額ガ出テ來レバ直グ之ヲ承認スルト云フ姿勢ニアル、サウ云フヤウナ情勢アルニ拘ラズ、ソレモ略サウト云フコトハ、ホンノ一舉手一投足ノ勞ヲ省カウト云フダケノコトデアリマス、ソレデモ尙且ツ摩擦ヲ生ジテモ、ソレヲ強行シナケレバナラスト云フコトニ付テハ、何カ特別ノ理由ガアリハシナイカ、何方特別ノ意圖ガアリハシナイカト云フヤウナコトヲ疑ハレテモドウカ、斯ウ云フ風ニモ思ハレル、其ノ點ハ如何デスカ、實際必要デナイ所ニ摩擦ヲ生ジサセル必要ガ何處ニアルカ、私トシテハ其ノ點ヲ御伺ヒシタイ

○賀屋國務大臣 ソレハ私ハドウモ分ラナイ、出タラ必ズ通スト仰シヤルナラ今御協賛下サレバ宜イ、ソレカラ今改メテ出シテ、先例ハ幾ラデモアルカラ、其ノ通りニ御協賛ヲ願ツタラ宜イ、ソレハ無條件デ通スベキモノダト御話ニナツテ居ルカラ、御通シヲ願ツテモ宜イト思フ、前ノ憲法論ハ御質問ヨリモ寧ロ御意見ト拜承致シマシタガ、ソレハ御意見ナラバ御答辯申上ゲル限りデハナイカモ知レマセスガ、豫算ハ命令デモ何デモナイノデアリマス、豫算デアリマス、豫算ハ此ノ法律ノ執行命令ニ從フト云フ考ヘハ毛頭持ツテ居リマセヌ、唯事實上金額ノ明示ガアルト云フ譯デアリマス、別ニ執行命令デモ何デモナイノデアリマス、道路

公債法ニ於キマシテモ、事實上道路公債ヲ發行シ得ル金額ガ決マル、是ハ豫算ダ金額ヲ決メルコトガ出來マス、道路公債法ハ別ニ豫算執行命令デモ何デモナイ、事實上運用シテ居ル譯デアリマス、此ノ事實ノ問題ガ法律ノ關係ヲ生ズル次第デゴザイマス、ソレハ別ニ施行命令デモナケレバ、法律上ノ事態ガ生ジナイト云フノデモナイノデアリマス、會社ニ損失ガ生ズレバ政府ガ補償シ、命令ト別ノモノデアリマス、ソレガ基礎ニナッテ政府ノ補償金ガ決マル、ソレト同ジコトダラウト思フ、一ツノ事實ガ法律ノ施行ニ形ヲ付ケル、制限ヲ付ケルニ役立ツ、此ノ關係デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○南委員 私ハマダ承服ガ出來ナイノデアリマスガ、殊ニ今マデ引例セラレテ居リマス先例トモ言フベキ御主張ノ言葉ヲ聽イテ見マス、總テ個々ノ特定ノ事項ニ付テノ問題デアリマス、デアアルカラシテ事ハ極メテ些細ト言ヘル、殊ニ又豫算ト申シマシテモ、總豫算ノ中ノ一部ノ豫算デアツテ、而モ其ノ一部ノ又一部ト云フ風ニ、限ラレタ部分ニ付テノ問題デアリマシテ、自ラ限度ガアルカラ、政治的ニ特ニ考慮フシテ、慎重ニ審議シナケレバナラスト云フコトニ付テモ、或ハ看過スルト云フコトガ危険性ヲ伴ハナイ、斯ウ云フコトデアルト、況ヤ特別會計ノ分ニ付キマシテハ、本來特別會計ソレ自身ニ於テソレヲ償却スルト云フヤウナ性質ノモノデアリマスカラ、累ラ更ニ國民ニ及ボスト云フ危險ノナイノガ本來デアリマス、例外ノコトハ何處マデモ例外ナコトデアアルカラ、特ニサウ云フ意味ハナイノデアツテ、原則ニ依ツテ考ヘナケレバナ

ラスコトデアリマス、引例セラレル法律ガ、憲法違反デアアルカナイカト云フコトハ、私ハ十分ニ檢討致シマセスガ、自ラソレ相當ノ辯解ノ餘地ガアラウト思フケレドモ、本件事案ニ付キマシテハ、辯解ノ餘地バナイト思フ、大キナ豫算ヲ組ンデ、其ノ豫算ニ必要ナル巨額ナル公債ヲ發行スルト云フコトヲ、白紙委任狀デ、マダ全然アリマセヌ豫算ニ對シテソレヲ認メテ行ク、斯ウ云フ建前ハ憲法ノ認メナイ精神デアアル、斯ウ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、私ハ何モ屁理窟ヲ申上ゲルノガ趣旨デハナイ、會計ニ關スルコトハ益、ムヅカシイニモムヅカシクスルノガ本當ナノデアアル、況ヤ憲法ノ上ニ於テ、特ニ豫算ノ事項又公債發行等ノ負擔ニ關スル直接ノ事項トハ、全然別ノコトトシテ御定メニナツテ居ルノデスカラ、之ヲ別ノモノトシテ扱ツテ行カケレバナラスト云フノガ建前ナノデス、例外的ノ微細ナリ、或ハ例外的ノコトガアツタカラト云ツテ、ソレデ憲法ノ大本ヲ覆スト云フコトハ許サナイ、隨テ之ヲ認メナケレバ何カ政府ニ支障デモアルト云フノナラバソレハ考ヘナケレバナラス、此ノ戰爭遂行ニ當ツテ、此ノ法律ヲ出シテ貰ハヌト邪魔ニナルト云フヤウナコトガアリマスレバ、是ハ何トデモソレニ合フヤウニ解釋シテ行カケレバナラス、併シ今日ノ場合ハサウデハナイ、コンナコトヲセヌデモ立派ニヤツテ行ケルノデスカラ、議會ヲ無視スルノデハナイカト云フ疑ヲ起ス、陛下ノ議會ノ權能ヲ縮メルト云フヤウナ疑ノアル事柄ヲ無理ニヤラスデモ宜イ、目的ハ達セラレル、從來通り少シモ差支ナイヤウニヤレルト云フノ、無理ニソレヲ強行シナケレバナラスト云フ理

由ハナカラウト思フ、先程大臣ハイッデモ承認シテ呉レルナラバ、今承認シタラドウカト言ハレマスケレドモ、ソレハ事實問題デアル、事實問題ナラハイツデモ承認シテ呉レルト云フナラバ、臨時軍事費ハモウ何時モ豫算ヲ出サスデモ宜イト云フ法律デモ出シテ豫メ臨時軍事費——戦争ニ必要ナル豫算ハ勝手ニ御組ミニナツテ、勝手ニ作ツテ宜シイ、サウ云フコトモ認メ得ルコトニナレバ、ソレハ憲法上認メテ居ル豫算ノ協賛ト云フコトモ要ラナイト云フコトニナル、ソレト同ジコトデス、ソレハ豫算ノ話デアリマスケレドモ、豫算ノ話モ公債發行ノ話モ兩々相對シタ別ノ事項トシテ、ヤハリ同ジ理窟デアリマスケラ、單ナル抽象的ナ内容ヲ持タナイ事項ニ付テ議會ノ協賛ヲ經ルト云フコトハアリ得ナイ、内容ガ具體化シテ初メテ協賛ヲ經ルト云フ事項ガ起リマスケラ、此ノ法律ガ出來マシテモ、尙且ツ議會ノ協賛ヲ經ベシト云フ憲法六十二條第三項ノ協賛ヲ經ベキ義務ハ政府カラ去ラナイト思フノデスガ、尙ホ其ノ點ニ付テモ一度御意見ヲ承ヘリタイ

○賀屋國務大臣 豫算ヲ出サヌナドト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデハナイ、決シテ同ジデハナイ、違憲カ違憲デナイカト云フコトヲ昨日カラ申上ゲテ居ルノデス、違憲デハアリマセヌ、前ニ申上ゲタヤウニ、内容ガナイト仰シヤイマスガ、立派ニ内容ハアリマス、豫算デ認メタ歳出金額カラ其ノ特別會計ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普通歳入ノ豫定額ヲ除イタル額——立派ニ私ハ内容ガアルト思フ、此ノ御協賛ヲ願フノデアリマス、サウ云フ風ナ内容ノ決メ方ハ幾ラモアルト云フコトヲ前カラ申上ゲテ

居ル、白紙委任狀ト仰シヤルガ、私ハ臨時軍事費ハ議會ノ總意デ出來テ居ルト思フ、公債委員會ニハ掛ケテ居ラヌカモ知ラヌガ議會ノ總意デ御協賛ニナルノダト思ヒマス、其ノ議會ノ總意デ金額ハチャント出ルコトニナツテ居ル、議會ヲ無視スルナドト云フコトハ私ニハ到底考ヘラレナイ、ドウモ私ハ御話ガ能ク分リマセヌ

○南委員 其ノ點ニ付テ私ノ説明ノ仕方ガ足ラヌノカモ知レマセヌガ、豫算ハ議會ガ承認スルト云ヒマシテモ、ソレハ歳入歳出ノ見積リヲ承認シタノデス、見積リト云フモノハ何等ノ内容ヲ持ツテ居ルノデハナイ、是ダケノ金ガ入ツテ是ダケノ金ヲ出スノデス、サウデスカト云フダケノ話、或ハソシナニ要ランデハナイデスカ、ト云フダケノ話、歳入歳出ノ見積リナンデス、其ノ見積リト別ニ歳入財源トシテ税金ヲドウ云フヤウニスルカ、法律ヲドウ云フヤウニ直シテ税金ヲドレダケ取立テルカト云フ問題ト同ジヤウニ、公債ヲドレダケ發行スルカト云フ問題ハ別ノ問題デス、豫算ト云フコトト公債發行ト云フコトトハ、憲法上全然別ナ事項ナンデス、豫算ヲ承認シタカラト云ツテ、ソレデモウ其ノ豫算ニ基ク財源ノ總テヲ議會ガ承認シタノダト云フコトハ、ソレハ財源其ノモノヲ是デ取ル、ドウ見積ルト云フ點ニ於テハ認メテ居リマスケレドモ、併シ之ニ依ツテ公債ヲ發行スルト云フ事項ハ別ニ承認ヲ經ベキモノデアルト思フ、一個人ノ場合ニ付テ考ヘテ見マシテモ、番頭ガ斯ウ云フ事業ヲヤリタイ、斯ウ云フ所カラ是ダケ金ヲ出シテ是レ——豫算ガアリマスガ、是デハ足りマセヌカラ、之ヲ借入金ニ依ツテヤリマセウ、サウスレバ是ダケ

ノ事業ガ出來マスト言ツテ、見積リヲ取ツテ主人ノ所ニ持ツテ來ル、主人ト云フノハ議會ノ場合ハ語弊ガアリマスガ、兎ニ角持ツテ來タ、ソレニ對シテ、ソレハ宜カラウ、ト言フノハ計畫ダケヲ承認シタノデス、儲テ愈計畫ヲ實行スルニ付テ、ソレハ今言フ通り是ダケノ金ハ借りナケレバナラヌ、ソコデ改メテ金額其ノ他ニ付テ承認ヲ求メル、是ガ當然ノ話デ、イヤ、アレハ計畫ヲ承認シタノダカラ、モウ宜イデハナイカ、サウ云フ大雜把ナヤリ方モアリマセウケレドモ、嚴密ナヤリ方トシテハサウ云フモノデアリ得ナイ、國家デモ同ジコトデアリマス、デアアルカラハ見積リサヘ出來レバ何時デモ金ハ借りレバ宜イノダト云フノデ、一般的ニ白紙委任狀のニ全權ヲ委任シテヤルト云フコトモアリマセウケレドモ、憲法ニ於テ特ニサウ云フ場合ノ協賛ヲ經ルコトニナツテ居ルノデアリマスケラ、豫算サヘ、見積リサヘ出來タラ何時デモ其ノ見積ニ現ハレテ來ル公債ハ發行シテ宜シイ……、現在ノ部分ハソレデモ宜シイケレドモ、其ノ次ニ幾ラ追加豫算ガ出テ來ルカ分ラナイ、其ノ豫算ニ基イテ何時デモ公債ヲ發行シテ宜シイ、サウ云フ具體的ノ事實ノ現存シナイ空ナルモノニ對シテ、今日承認スルト云フコトハ承認シタコトニナラヌ、協賛シタコトニナラヌ、斯ウ云フ意味デ私ハ申上ゲタノデス、デアアルカラ若シ此ノ法律ガ出來マシテモ、尙且ツ具體的ニ豫算ガ現ハレタ時ニハ、其ノ豫算ニ基イテ公債ヲ發行セントスルナラバ、ヤハリ議會ノ協賛ヲ經ベシト云フ結論ニナルト私ハ考ヘルノデアリマスガ、如何デスカ

○賀屋國務大臣 ドウモ私ハ分リマセヌハ

ソレハ政府ハ年々道路公債法ニ依ツテ金額ガ具體的ニ書イテナイガ、道路ノ歳出豫算ノ範圍内デ出シテ宜シイト書イテアル、ソレデ豫算ガ決マルト其ノ範圍デ公債ヲ出シテ居ル、ソレデ別ニ會計検査院モ批難セズ議會ノ協賛モ經テ居ル、是ハアナタノ御議論デハ憲法違反ト言ハザルヲ得ナイ、併シ一回モサウ云フコトガナイ、ソレガ憲法違反デナクテ今同サウダト云フノハ分ラナイ、豫算論デスガ、恐縮デスケレドモアナタノ豫算論トハ違ヒマス、歳出ハ十分ナ制限ガアル、各項毎ニ其ノ金額以上ニ出セナイト云フ制限ガアル、是ハ唯ノ見積リデハゴザイマセヌ、歳入ハアナタノ御話ノヤウニ見積リナンデス、ソコデ此處デ法律ヲ出シテ、將來歳出豫算ハ是々ノ中ニ是以上出セヌゾ、ソレヲ御協賛ヲ得レバ出シテ宜シイト云フコトニシテモ、其ノ歳出豫算ノ制限ト云フモノヲ毎年御協賛ニナリマスケラ、ソコデ立派ニ是ハ制限ガアルト思フ、租稅デモサウデゴザイマス、一度御協賛ヲ經マシテ毎年ソレデ入ツテ來ル、年々ソレデ御協賛ハ經マセヌ、年々見積リヲ上ゲル、歳入ハ見積リダト仰セニナリマシタガ議會デモ是ダケノ歳入ガナイモノト御覽ニナレバ、歳出豫算ハ御通シニナラヌト思ヒマス、即チ歳入豫算ハ是ダケハ國家ノ要ル金デアル、又ソレヲ作ルダケノ途ヲ政府ガ考ヘル、サウシテソレガ實際ニ入ツテ來ル、ソレヲ御檢討ニナル譯デス、其ノ一ツノ方法ヲ豫メ御協賛願ツテ……議會ニ之ヲ出サヌデ吾々ガヤツタラ御話ノヤウナコトデアリマスガ、議會ニ之ヲ出シテ御協賛ヲ願ツテ、サウシテソレデハ出放題カト云フト、歳出豫算ト云フモノハ一方ニ於テ御檢討ニ

ナツテ御承認ニナル、デスカラ中々出放題
ドコロデハナイ、全クソコデ一定ノ制限ト
云フモノヲ受ケマスノデ、御話ノヤウナ白
紙委任狀ヲ取ルトカ、或ハ幾ラデモ豫算ヲ
出シテモ宜イト云フコトニハドウシテモ私
共ハ考ヘラレナイ、又サウ云フコトヲ考ヘ
ルヤウナ大體思想ヲ持ツテ居ナイノデゴザ
イマス

○南委員 私ハ大藏大臣ノ考ヘ方ニ付テ疑
ヲ懷クト云フ意味デハナイノデス、唯憲法
上ノ議論ハ今日現在ノコトダケヲ以テ考ヘ
ル譯ニイカス、將來ノコトヲヤハリ頭ニ置
イテ檢討シテ置カスト云フト、禍ヒガドウ
云フ所カラ起ツテ來ルカ分ラナイ、斯ウ云
フコトヲ心配シテ居ルノデス、先程ノ御議
論ノ如ク……是ハ討論ヲスル意味デハアリ
マセスカラ、別ニ是以上ハ申シマセヌガ、豫
算ハ見積リニ外ナラナイト云フ意味ハ、無論
歳出豫算ニハ制限ガアル、ソレハ當然ノ話
デ、制限ノアル見積リデス、此ノ點ニ付テ
ハ何モ無制限ナ見積リデナイト云フコトハ
當然ノ話デス、併シナガラ別ニ此ノ點ニ付テ議
論スルコトガ本旨デアリマセスカラ、是以上
申上ゲテモ討論ニナツテシマツテハ遺憾ト
思ヒマスノデ、私ノ此ノ點ニ關スル質問ハ
一應打切ツテ置イテ、別ノ機會ニ於テ又御
伺ヒスル點ガアレバ御伺ヒラスルシ、又研
究スル事項モ殘ツテ居リマスカラ、之ニ對
シマシテハ、之ヲ如何ニスルカト云フコト
ハ委員ノ中ニ於テ協議シテ、又改メテ大藏
省ノ御意向ヲ承ルト云フヤウナ機會モ必要
ガアラウカトモ思ハレルノデアリマス、修
正スルカドウカト云フヤウナ問題ガ起ツテ
來ナイトモ限ラナイ、其ノ時改メテ御意見
ヲ伺ヒタイト思ヒマス、先ヲ急イデ居ルノ

デ失禮デゴザイマスガ此ノ程度デ私ノ質問
ハ止メマス

○賀屋國務大臣 先ニ御答ヲ致シマシタ
ガ、其ノ金額ハ多ウゴザイマスケレドモ、
臨時軍事費ト云フ全ク是ハ特殊ナモノデア
リマス、ソコハ一ツ能ク御考ヘヲ願ヒタイ、
今モ南君仰セニナリマシタヤウナ性質ノモ
ノデ、ソレニ出テ居ル提案ナノデゴザイマ
スカラ、ソコモ一ツ御考ヘ願ヒタイト思ヒ
マス

○矢野委員長 此ノ際政府委員ニ御説明デ
モ、資料デモドチラデモ結構デスガ、御願
ヒヲ致シマス、ソレハ附則ノ「昭和十三年法
律第二十三號中左ノ通改正ス」トアル此ノ
第一條ノ中ニ「勅令ノ定ムル租税ノ收入額中
勅令ノ定ムル金額」トアリマス、其ノ「勅令ノ
定ムル租税ノ收入額」トハ如何ナル租税デア
ツテ、如何ナル數額カ、ソレカラ「勅令ノ定
ムル金額」ト云フノハ、是ハ勅令デドウ云フ風
ニ定メルノカ、毎年々々一時的ノ勅令ヲ出
シテ定メルノカ、現ニ存在シテ居ル勅令デ
定メルノカ、ソレカラ第二條ニ付テモ全ク
同一デハアリマセヌケレドモ、同様ノ規定
ガゴザイマスルノデ、此ノ點ニ付テ資料ヲ
御出シ下サツテモ結構デアリマスシ、又説
明ヲシテ貰ヒマシテモ結構デアリマス、ソ
レヲ一ツ伺ヒマス

○植木政府委員 只今ノ御質問ノ「勅令ノ定
ムル租税」ト言ヒマスノハ、外地ノ地域ニ依
ツテ非常ニ澤山ニ互ツテ居リマスカラ、資
料デ提出シタ方ガ御便宜ト思ヒマスノデ、
サウ致シタイト思ヒマス

○矢野委員長 委員長トシテモ重大ナル法
案デハアリマスケレドモ、成ベク速カニ
審議ヲ終了シタイト存ジテ居リマスノデ、

明日ノ委員會ニ其ノ資料ノ御提出ヲ願ヒマ
ス——委員各位ニ申上ゲマス、他ニ御質疑
ハゴザイマセヌカ、本件ニ付テ御質疑ガナ
クテモ、他ノ法律案即チ臨時資金調整法中
改正法律案、普通銀行等ノ貯蓄銀行業務又
ハ信託業務ノ兼營等ニ關スル法律案、銀行
等ノ事務ノ簡素化ニ關スル法律案、此ノ三
件ヲモ併セテ質疑ヲ致シテ居ルノデスガ、
之ニ付テ何カ御發言ガアリマスカー——ソレ
デハ本日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ一寸
豫定ガ付キマセヌノデ、更ニ公報ヲ以テ御
知ラセ申上ゲマス

午後四時二十四分散會